

2025^(令和7)年
鳴門教育大学
学部案内



CONTENTS

学長メッセージ	1
教員就職率 全国第1位	2
セルフデザイン型学修	3
鳴門教育大学の求める人物像	4
各専修の目的	5
募集人員等	5
教育課程の概要	6
全国初! 四国5国立大学がつながる授業	6
取得できる教員免許及び資格	7
実地教育(教育実習)	8
教育実習を経験して	9
専修・コース紹介	10
ウェブページ・オープンキャンパス	21
CAMPUS	22
充実の附属教育研究施設	24
キャンパスカレンダー	26
サークル・部活動	27
在学生からのメッセージ	28
鳴教生キャンパスライフ	29
鳴教生の1日	30
就職支援	32
卒業生からのメッセージ	33
入学試験状況	34
鳴門ってこんなところ!	36
鳴門教育大学の位置図・アクセスガイド	37
大学院・短期交換留学	38
キャンパスライフQ&A	39
学生募集要項等の請求方法	40
インターネット出願	41



教師を目指す気持ち、その先まで支えたい。



教師教育のトップランナー

鳴門教育大学は、1981年（昭和56年）に、新構想の教育大学として、つまり、大学院において現職教員を対象とする高度な教育研究を行うことをねらいとして創設されました。1986年には、学部（学校教育学部）の学生受け入れを開始しました。開学以来、鳴門教育大学は時代に先んじた教師教育に取り組んできました。

鳴教は、「よい教師を一人でも多く」育て、社会に送り出すことを基本的な使命として、教職員が協力して取り組んでいます。その成果の一端として、本学の教員就職率（2023年）は88.2%で全国44の国立の教員養成大学・学部の中で第1位となっており、また、2011年～2022年までの12年間では、全国第1位が8回と常に高い教員就職率の実績を誇っています。

鳴教大の教育体制

鳴教の学部は1学年100人の規模ですが、小規模であるがゆえの良さを数多く持っています。所属するコースの仲間のつながりはもちろんですが、サークル活動が活発でコースや学年を越えたつながりも強く、皆さんの学生

生活や学修を支えてくれるでしょう。また、先生方からの丁寧な指導を受けることができます。教室での授業だけでなく、実際に児童生徒に関わり合う実習も充実しており、教師としての自己の姿や成長をとらえ直す機会となることでしょう。さらに教職に就くための課外の指導も豊富に設定されていて、皆さんが教師になるための学びを積むことができます。

また、鳴教は、多様な学生が学ぶ場でもあります。大学院では現職教員が多数学んでいます。母国の教育改革を進展させるという使命を担った海外からの留学生も多数学んでいます。これら多様な人々との交流や学び合いも、教師としての見方や考え方を広げる貴重な経験になります。

教師という仕事

一人ひとりの子どもの可能性を引き出し、社会で存在感を発揮する人間として育てるという教師の仕事は、たしかに容易なことではなく、骨が折れる仕事です。しかし同時に、やり甲斐のある重要な仕事ですし、子どもにとって教師はかけがえのない存在です。本学の、ある教員は「教師は苦勞が報われる仕事」とであると、私に話してくれたことがあります。教師が誠実に子どもに向き合ったことにより子どもが成長したことを実感できたときの、大きな喜びをそのように表現されているのだと思います。書けなかった文字が書けるようになった、できなかった計算ができるようになった、人前で話せ

るようになった、これらのことは子どもにとって自分の成長を実感できる貴重な経験であり、大きな喜びであるでしょう。そして、教師は子どもの成長を支えると共に、それを共に喜ぶことのできる存在なのです。

教師の仕事は、決して容易なものではありませんが、子どもの生き方と社会の在り方に大きな影響を及ぼす、創造的（creative）な仕事なのです。だからこそ、教師は専門職たるべく、自らの考え方、知識を、磨き続けなければならないのです。

鳴教こそは、今後の急激な社会変化の中でも、しっかりとその役割を果たしうる教師を育てる大学です。みなさんの「教師になりたい」という夢を叶える大学であるだけでなく、学び続ける教師として皆さんを支えていく大学でもあります。

みなさんと鳴教の美しいキャンパスでお会いできることを楽しみにしています。

鳴門教育大学長

佐 古 秀 一



(2023(令和5)年3月卒業生調査)



高い水準の教員就職率を支える就職支援

01

教職経験豊富な
元公立学校長の
アドバイザーによる
指導

02

充実した
教員採用対策
ガイダンス

03

卒業生の
現職教員との
意見交換

04

全教員が
面接官としての
模擬面接、
模擬授業を実施

主体的に学び創造的に実践する教師



新時代の教育をリードする セルフデザイン型学修

これからの教員に必要な資質・能力を示した「鳴門パースペクティブ」

AIを活用したe-ポートフォリオシステムであなたの学びを可視化

Project-Based Learning (PBL) を取り入れた初年次教育

地域社会と協働する学びを統合する体験活動「セルデザクエスト」

Society5.0時代にふさわしい**情報通信技術 (ICT)** 活用指導力の育成

SDGs (持続可能な開発目標) 時代における**グローバル化**への対応

いじめ、ダイバーシティ (多様性) など**現代的な教育課題**への対応

鳴門教育大学の求める人物像

アドミッション・ポリシー

鳴門教育大学は、日本の未来を背負う若者を育てる教員として、豊かな人間性と教育に対する使命感を育成し、教育に関する深い専門的知識と教育実践力を身に付けた「専門職としての教員」(小学校教員、中学校教員、高等学校教員、特別支援学校教員、幼稚園教員、保育士)を育成するため、次のような皆さんの入学を期待しています。

1 教育に対する 熱意と使命感を 持っている人 	2 子どもの成長を喜び、 将来、教員として子どもの 教育に関わりたいという 強い意志を 持っている人 	3 優れた洞察力と 豊かな個性・行動力を 持った人 
4 教員を目指す上で 十分な基礎学力を 身に付けている人 	5 知識や技能を活用して 論理的に物事を考え、 志望する専修・コースが 対象とする課題を解決 するために粘り強く 探求できる人 	6 豊かなコミュニケーション 能力を持ち、多様な人々と 協働して様々な 問題に積極的に 取り組める人 

入学者選抜方法

上記のような人を求めるため、一般選抜(前期日程及び後期日程)と学校推薦型選抜(I型及びII型)により、各専修・コースごとに入学者の選抜を行います。

教員になるために必要な資質と能力を多面的・総合的に評価する入学者選抜方法として、全ての受験者に面接を課すとともに、各専修・コースごとに小論文や実技検査を課す等、多様な入学者選抜方法により入学者の選抜を行います。

選抜方法等 入試区分		大学入学 共通テスト	個別 学力検査	実技検査	面 接	小論文	調査書	推薦書	自己推薦書・ 活動報告書等
一 般 選 抜	前期日程	◎	○	○	◎	○	◎		
	後期日程	◎			◎		◎		
学校推薦型選抜	I 型			◎	◎		◎	◎	◎
	II 型	◎		○	◎	○	◎	◎	○

◎:全ての受験者に課す。 ○:該当する専修・コースの受験者に課す。

各専修の目的

学校教育教員養成課程には、幼児教育専修、小学校教育専修、中学校教育専修及び特別支援教育専修の4専修が置かれています。各専修の目的は次のとおりです。

1

幼児教育専修

人間の生涯発達の基礎期にあたる幼児に関わる幼児教育学、幼児心理学、保育内容の研究の諸分野、ならびに児童福祉学についての専門的知識を学び、幼児教育の実践力を伴った幼稚園教員及び保育士の養成にあたります。

2

小学校教育専修

学生の実践的経験（教育実習）や具体的な教育課題に対する探求を重視しながら、各教科、道徳、外国語活動及び特別活動の指導、生徒指導、学級指導などの教育実践における基礎的で、かつ、不可欠な知識や技術の習得をねらいとし、実践力を伴った小学校教員の養成にあたります。

3

中学校教育専修

教員にとって必要と考えられる各教科内容に関する実践的・専門的知識を深く学び、教科内容の高度化に対応するとともに、教科指導、生徒指導、学級指導などの実践力を伴った中学校教員の養成にあたります。

4

特別支援教育専修

小学校教員としての基礎的知識や技術を習得した上で、特別支援教育の対象となる知的障害児、肢体不自由児、病弱児、LD等の発達障害児、視覚障害児及び聴覚障害児等に関して、教育学、心理学、医学領域からなる専門的知識を学び、障害児指導の実践体験を重ね、実践力を有した特別支援学校教員の養成にあたります。

募集人員等(予定)

※正式な募集人員は、7月下旬頃発行の「2025（令和7）年度入学者選抜要項」にて公表します。必ずそちらをご確認ください。

募集人員

学部	課程	専修又はコース	入学定員	前期日程	後期日程	学校推薦型 選抜Ⅰ型	学校推薦型 選抜Ⅱ型
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	学 校 教 育 専 修	幼 児 教 育 専 修	100	3	—	—	2
		小学校教育専修学校教育実践コース		5	2	—	—
		小 国 語 科 教 育 コース		8	4	—	—
		小 英 語 科 教 育 コース		6	2	—	—
		小 社 会 科 教 育 コース		6	2	—	2
		小 算 数 科・数 学 科 教 育 コース		8	3	—	—
		小 理 科 教 育 コース		7	3	—	—
		小 音 楽 科 教 育 コース		3	—	—	3
		小 図 画 工 作 科・美 術 科 教 育 コース		4	—	2	—
		小 体 育 科・保 健 体 育 科 教 育 コース		6	—	—	2
		小 技 術 科 教 育 コース		4	—	—	2
		小 家 庭 科 教 育 コース		4	—	—	2
		特 別 支 援 教 育 専 修		3	—	—	2
		合 計	100	67	16	2	15
	中 学 校 教 育 専 修						

入学後の所属

学部	課程	専修又はコース
学 校 教 育 教 員 養 成 課 程	小 学 校 教 育 専 修	幼 児 教 育 専 修
		学校教育実践コース
		国語科教育コース
		英語科教育コース
		社会科教育コース
		算数科教育コース
		理科教育コース
		音楽科教育コース
		図画工作科教育コース
		体育科教育コース
		技術科教育コース
		家庭科教育コース
	中 学 校 教 育 専 修	国語科教育コース
		英語科教育コース
		社会科教育コース
		数学科教育コース
		理科教育コース
		音楽科教育コース
部 程	専 修	美術科教育コース
		保健体育科教育コース
		技術科教育コース
		家庭科教育コース
部 程	専 修	特 別 支 援 教 育 専 修

注・小学校教育専修（学校教育実践コースを除く。）と中学校教育専修については、教科ごと一括して募集します。
・小学校教育専修（学校教育実践コースを除く。）と中学校教育専修の所属分けは、入学した学生の専修所属希望と1年次の前期の成績を基に、1年次の後期（10月）に行います。
・小学校教育専修（学校教育実践コースを除く。）と中学校教育専修の学生は、必ずしも希望する専修に所属できるとは限りませんが、どちらの専修に所属しても、小学校教諭免許状と中学校教諭免許状の両方を取得することができます。

※「取得できる教員の免許及び資格」の詳細は、7ページをご覧ください。

教育課程の概要

基礎知識の上に、教員としての総合的な能力を得させることを目的として編成

1. 教育課程

- (1) 本学学校教育学部教育課程は、広い学問領域にわたる基礎知識の上に、幼稚園教員、小学校教員、中学校教員及び特別支援学校教員としての総合的な能力を得させることを目的として編成しています。
- (2) 教育課程は、4年間を通じて全体の調和と総合性を配慮して編成しています。
- (3) 授業科目は、それぞれの内容と性格に応じて、教養基礎科目、大学設定科目、教職共通科目、専修専門科目、卒業研究に区分し、従来の一般教育科目、外国語科目、保健体育科目、教科及び教職に関する科目との有機的な統合を図り、総合的志向と専門的志向とが調和するよう編成しています。
- (4) 実地教育（教育実習等）については、全体的かつ体系的な計画の下に、1年次から4年間にわたって実施します。

2. 授 業

(1) 学期（授業期間）

学年を前期（4月1日から9月30日まで）、後期（10月1日から3月31日まで）の2学期に区分し、各授業科目の授業は前期15週、後期15週にわたる期間を単位として行います。

(2) 授業の方法

授業は、講義、演習、実験・実習若しくは実技のいずれかにより又はこれらの併用により行います。

授業科目の区分	内 容
教 養 基 礎 科 目	高等学校までの学習で獲得した知識を基盤にしつつ、これからの社会情勢の変化に対応でき、学び続ける教師の基礎となる資質・能力を身につけるための鳴門教育大学生としての初年次教育を目的とした領域と、心身の健康の獲得及び自己表現力とコミュニケーション能力の習得を目的とした「身体運動・表現コミュニケーション」領域の2領域において、授業科目を開設する。
大 学 設 定 科 目	教師として必要な実践的指導力を育成する「教育実践基礎科目」と、Society5.0時代にふさわしい情報通信技術（ICT）の活用や、多様化、個別化する実社会の状況を踏まえた、性に関するダイバーシティ教育、多文化教育の一層の推進等、現代的な教育課題に対応する教育実践力を育成するための「現代的教育課題科目」として開設する。
教 職 共 通 科 目	教職に関する専門科目で、学校教育の理論的・実践的分野に関わる科目を含み、特に子どもとのふれあいを重視するための授業科目として、実地教育を開設する。
専 修 専 門 科 目	学生の専修・教育コースに応じて、それぞれの分野での指導能力を高め、自分の得意分野を確立し、教育実践・教育研究を進めていく能力と態度を培うための授業科目を開設する。
卒 業 研 究	教養基礎科目、教職共通科目及び専修専門科目などの学習を基に、学校教育の諸問題に対して、その状況を的確に把握・分析し、解決できる能力の育成を図るために、自らが課題を設定して研究を行う。

全国初!

四国5国立大学がつながる授業

連携教職課程

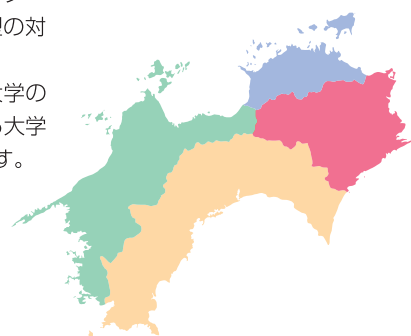
「連携教職課程」では、鳴門教育大学の学生でありながら、連携する大学それぞれの強みや特色のある授業を履修することができます。

「連携教職課程」の科目では、従来の対面型授業に加え、連携する大学の教員がインターネットを介して行うオンライン授業、教員や学生が一か所に集い実施する集中講義型の対面授業など、それぞれの形態の特性を活かした授業を展開します。

各科目の授業には、連携する大学から同じキャリアを目指す学生が集まるため、大学の垣根を越えての意見交換や交流ができます。また、それぞれの科目において、連携する大学の教員から指導を受けることができるため、より幅広い専門領域を学ぶことができます。

連携教職課程開設免許種・構成大学

- 美術（中・高一種） 徳島大学、鳴門教育大学、香川大学
- 家庭（中・高一種） 鳴門教育大学、香川大学、高知大学
- 情報（高一種） 鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学



取得できる教員免許及び資格

複数の教育職員免許状を取得可能

卒業の要件を満たすことによって取得することができる教育職員免許状及び資格

学部	課程	専修・教育コース	教育職員免許状の種類及び資格
学校教育専修部	学校教育専修	幼児教育専修	幼稚園教諭一種免許状及び小学校教諭二種免許状、保育士資格
		学校教育実践コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状の免許教科のうち国語、英語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術又は家庭のいずれか一つの免許状
		国語科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（国語）
		英語科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（英語）
		社会科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（社会）
		算数科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（数学）
		理科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（理科）
		音楽科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（音楽）
		図画工作科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（美術）
		体育科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（保健体育）
		技術科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（技術）
		家庭科教育コース	小学校教諭一種免許状及び中学校教諭二種免許状（家庭）
	中学校教育専修	国語科教育コース	中学校教諭一種免許状（国語）、高等学校教諭一種免許状（国語）及び小学校教諭二種免許状
		英語科教育コース	中学校教諭一種免許状（英語）、高等学校教諭一種免許状（英語）及び小学校教諭二種免許状
		社会科教育コース	中学校教諭一種免許状（社会）及び小学校教諭二種免許状
		数学科教育コース	中学校教諭一種免許状（数学）、高等学校教諭一種免許状（数学）及び小学校教諭二種免許状
		理科教育コース	中学校教諭一種免許状（理科）、高等学校教諭一種免許状（理科）及び小学校教諭二種免許状
		音楽科教育コース	中学校教諭一種免許状（音楽）、高等学校教諭一種免許状（音楽）及び小学校教諭二種免許状
		美術科教育コース	中学校教諭一種免許状（美術）、高等学校教諭一種免許状（美術）及び小学校教諭二種免許状
		保健体育科教育コース	中学校教諭一種免許状（保健体育）、高等学校教諭一種免許状（保健体育）及び小学校教諭二種免許状
		技術科教育コース	中学校教諭一種免許状（技術）、高等学校教諭一種免許状（工業）及び小学校教諭二種免許状
		家庭科教育コース	中学校教諭一種免許状（家庭）、高等学校教諭一種免許状（家庭）及び小学校教諭二種免許状
	特別支援教育専修		小学校教諭一種免許状及び特別支援学校教諭一種免許状（知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域、病弱者に関する教育の領域）

卒業の要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる教育職員免許状

幼稚園教諭（一種・二種）免許状
小学校教諭（一種・二種）免許状
中学校教諭（一種・二種）免許状
（国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、英語）
高等学校教諭一種免許状
（国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、保健体育、家庭、情報、工業、英語）

※卒業の要件以外の単位を併せて修得することにより、多くの学生が希望する教育職員免許状を取得しています。（授業時間割上の制約によって、希望する教育職員免許状が取得できないことがあります。）

卒業の要件以外の単位を併せて修得することによって取得することができる資格

学校図書館司書教諭
学芸員

※授業時間割上の制約によって、希望する資格が取得できないことがあります。

また、所属する専修により、取得できない教育職員免許状は次のとおりです。

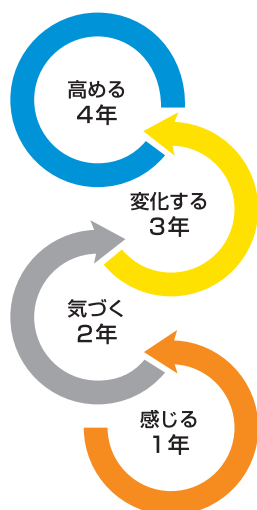
- （1）幼児教育専修の学生が取得できない教育職員免許状
中学校教諭（一種・二種）免許状
高等学校教諭一種免許状
特別支援学校教諭（一種・二種）免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- （2）小学校教育専修の学生が取得できない教育職員免許状
特別支援学校教諭（一種・二種）免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- （3）中学校教育専修の学生が取得できない教育職員免許状
特別支援学校教諭（一種・二種）免許状（知的障害者・肢体不自由者・病弱者）
- （4）特別支援教育専修の学生が取得できない教育職員免許状
中学校教諭（一種・二種）免許状
高等学校教諭一種免許状

実地教育(教育実習)

従来の教育実習に新しい工夫改善を加えた「実地教育」

教員となるためには、教育現場を実地に学修する、いわゆる教育実習が極めて重要です。

本学では、従来の教育実習に新しい工夫改善を加え、「実地教育」として、できるだけ早い時期から教育に対する目を開かせ、段階を追って教員としての資質を高めるために、1年次から4年次にわたり、「実地教育計画表」に示すとおり実施することとしています。



実地教育計画表

	授 業 科 目	実施 学年	受 講 対 象	主 な 実 施 場 所
高める	教員体験実習	4	オ プ シ ョ ン	協 力 校
	特別支援教育実習	4	特別支援教育専修必修	附属特別支援学校 県立支援学校
	特別支援教育専修実習	4	特別支援教育専修必修	大 学 附属特別支援学校
	副 免 教 育 実 習	4	小学校・中学校教育専修必修	附 属 学 校
	教員インターンシップ	4	選 択	協 力 校
変化する	主免教育実習事後指導	3	全 専 修 必 修	大 学
	主 免 教 育 実 習	3	全 専 修 必 修	附 属 学 校
	主免教育実習事前指導	3	全 専 修 必 修	大 学
	附属校園観察実習	3	全 専 修 必 修	附 属 学 校
気づく	気 づ く 実 習	2	オ プ シ ョ ン	協 力 校
感じる	ふ れ あ い 実 習	1	全 専 修 必 修	協力校(幼稚園) 附属学校
	保 育 所 実 習 I	2	幼児教育専修必修	保 育 所
	保 育 所 実 習 II	4	幼児教育専修必修	保 育 所
	施 設 実 習	2	幼児教育専修必修	施 設
	介 護 等 体 験	2	小学校・中学校教育専修 及び特別支援教育専修	社会福祉施設等 附属特別支援学校

N-CBT (New Computer Based Testing)

本学は、教育実習に、教師としての構え、教師として必要な基本的知識、基本的技能、実践的指導力を自己課題として設定して参加します。この自己課題を設定するにあたって、AIを活用した自己診査システム(N-CBT)を導入しています。N-CBT実施にあたっては、受検者の回答状況をコンピュータが即座に分析し、問題の難易度から次に出題する問題を選択、決定する仕組み、コンピュータ適応型テスト(CATシステム=Computer Adaptive Testing)を構築しています。これにより、通常の試験より適正な能力判断が可能となり、より学生自身に寄り添った自己課題の設定を可能にしています。



附属学校

本学では、大学と一体になって、教育の理論や実践に関する科学研究を行うとともに、大学の計画に従い学生の教育実習等の実施に当たることを目的に、附属幼稚園、附属小学校、附属中学校及び附属特別支援学校を設置しています。

附属学校は、大学のある鳴門市の高島キャンパスから20キロほど離れた徳島市内に位置しています。



附属幼稚園 主免教育実習



附属小学校 授業実践研修会



附属中学校 体育祭



附属特別支援学校 タブレット端末を活用した学習

教育実習を経験して

自分のスタイルを探して

小学校教育専修国語科教育コース 4年 谷上 颯亮

私は、今回の教育実習を通して自分の教師像が少し明確になったと感じます。

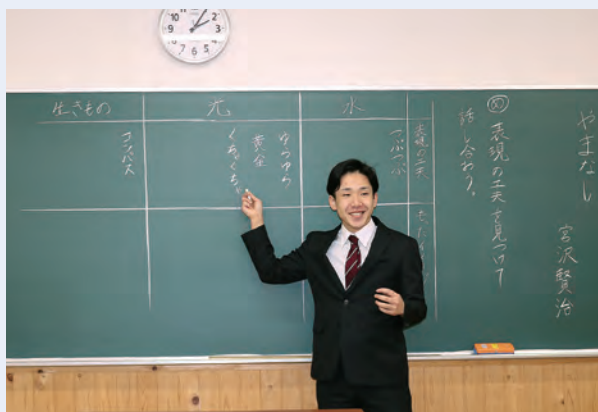
私が教員を志すようになったのは、中学生の頃でした。授業などの勉強面はもちろんのこと、部活動、進路相談など様々な場面で今よりも未熟だった私を支えてくださった先生方に尊敬の念を抱くと同時に自分も同じように支え導くことができる人になりたいと思ったからです。

そのような思いを抱いて、鳴門教育大学に入学し迎えた主免教育実習でしたが、なかなか自分の思うようにはいきませんでした。特に子どもたちへの指導方法に苦戦しました。「子どもたちをほめて伸ばす」「気付かせるような声掛けを心掛ける」といった指導方法があまり肌に馴染まなかったのです。実習中ずっとどのような声掛けをすれば子どもたちは気付くことができるのかを考えていました。そうやって考えるときに助けになったのは、担当してくださった先生方と同じクラスに配属された実習生の存在でした。やはり一人で考え続けることには限界があり、右も左もわからない私には大きな壁でした。私はこの壁にぶつかったとき、先生方やほかの実習生の児童との関わり方を観察することにも注力してみました。そうすることでわかったのは、ひとりひとり関わり方が違うということでした。

た。ほめることを中心として児童と関わる先生や、諭すように指導を行う先生、休み時間のコミュニケーションを多く図る先生などベースでは同じでも細部には先生方ひとりひとりのこだわりが表れていました。そこから私は自分の教師像を模索することに考え方を変えてみました。

考え方を変えてからは以前よりも子どもたちとも関わるできるようになり、より実習を楽しんでいると感じることができるようになりました。

実習を通して学んだことは、観察することの大切さと常に考え続けることの大切さです。この2つを大事にしながら、自分に合った関わり方で子どもたちを導く教員になりたいと思います。



教師のやりがい

中学校教育専修・英語科教育コース 4年 向井 葉南

私は今回の教育実習で教師としての「やりがい」を感じました。私は生徒に英語を通して海外の文化について学んだり、英語を使って会話をする楽しさを伝えたいという思いから英語教師を目指すようになりました。そのため今回の教育実習では、私の留学経験などを生徒に伝えて英語を少しでも好きになってもらうことが目標の1つでした。いざ教育実習が始まると授業の中で生徒に身につけさせたいことを念頭に置いた授業づくりや教材研究等に追われて一日があっという間に終わり、疲れがたまえることもありました。しかし、生徒との休憩時間の会話や生徒の笑顔、勉強を頑張る姿を見て私は毎日元気をもらっていました。また、生徒が集中して授業を聞いたり、積極的に発表する姿は、私に学びのある授業づくりに対するやる気をさらに奮起させてくれました。時には、生徒に正しい発音の仕方を教えることができなったり、時間内に予定していた活動を終えることができなったりと授業実践や学級指導の中で反省するべきこともありました。しかし、最後の授業ではたくさんの生徒が「向井先生の授業楽しかった。もう一度向井先生の授業を受けたい。」とか「英語が好きになった。」という

メッセージを書いてくれました。この言葉をいただいて私は「教師」とは授業だけでなく学級経営や生徒指導など仕事が多く大変な職業ではあるが、それを上回る生徒と過ごす楽しい時間や生徒の成長を近くで支えることができる素晴らしい職業であると実感しました。教育実習では、生徒との交流や多くの授業実践を通して大学の中だけでは感じたり、知ることのできない多くの貴重な経験をすることができました。教育実習を終えて、新たに発見することができた自分の課題を克服していきこうという気持ちと、中学校の英語教師になりたいという気持ちがより一層強くなりました。これからも大学で学び続け、教師になった時には学校で即戦力となる教師になれるように努力していきたいと改めて感じました。



専修・コース紹介

幼児教育専修

幼児理解に必要な基礎的知識を基盤に、教育や保育に必要な専門的知識と技能を身につけ、確かな実践力のある教員を養成

幼児教育専修では、幼稚園・小学校の教員免許に加え、保育士の資格を取得することができます。幼児理解に必要な基礎的知識を基盤に、教育や保育に必要な専門的知識と技能を身につけ、確かな実践力のある教員となることをめざしています。

学外の実習に加え、幼児理解や実践的指導力を高めるために実施しているのが、大学内の多目的広場の自然を活用した自然体験型活動です。豊かな自然環境との触れあいを通して展開される子どもとの遊びは、子どもがモノにかかわって発揮する想像力・独創性を目の当たりにし、子どもや環境を理解し、自らの実践を省察する力、研究する力を養う機会となっています。

主な授業科目

幼児教育課程論	保育内容(健康)
保育内容(人間関係)	幼児理解と保育実践の心理学
保育内容(環境)	保育原論
保育内容(言葉)	子ども家庭福祉
保育内容(表現Ⅰ・Ⅱ)	乳幼児教育研究法Ⅰ・Ⅱ



所属学生からのメッセージ・・・



4年 岡田 花梨

将来どのような保育者になりたいですか？本専修では、同専修の仲間と意見交換を行いながら専門的な知識や技能を身につけることができます。また、実習など子どもと関わる機会が多いことはもちろん、保育者の姿や先輩方の姿を見て学ぶことも魅力です。多くの魅力があるこの専修で、自分の理想の保育者を目指しませんか。

学校教育実践コース

学習指導、子ども理解、学級経営等、多方面にわたる教育実践力を身につけた小学校教員を養成

小学校教育専修学校教育実践コースの特徴は次の3つです。

- ①小学校教員としての専門性の向上に重点を置いたカリキュラム編成となっています(中学校教諭免許状も取得できます)。
- ②コース独自の科目で特に重視しているのは教育現場における様々な実践とその振り返りです。コースには教職経験を持つ教員も多く、学習指導はもとより、子ども理解や学級経営等、多方面にわたって実践に基づき学ぶことができます。
- ③学部卒業後は、本コースに接続する教職大学院教員養成特別コースに学内特別選抜で進学し、長期間の実習をベースにしたカリキュラムの中で学部時代に培った力量をさらに深め、より高度な実践力を獲得することができます。

主な授業科目

教育実践基礎演習	主免教育実習
学校教育実践Ⅰ(授業設計)	副免教育実習
学校教育実践Ⅱ(授業省察)	教職実践演習
学校教育実践Ⅲ(子ども・学級理解)	卒業研究



所属学生からのメッセージ・・・



4年 石井 湧大

本コースでは、たくさんの模擬授業や実践を通して、授業力や生徒指導力など、たくさんの力を身に付けられます！

あたたかい仲間と優しく丁寧に教えてくださる先生方と共に学ぶ中で、教育や教師についての自分の考えを日々深めていくことができます。同じ教師を目指す仲間と共に、より良い教師を目指してみませんか？

国語科教育 コース

確かな言葉の力を備えた小学校教員を養成

国語科では、人間の暮らしと学びにとって空気のように身近なものになっている母語としての「言葉」の姿と、その「教育」のあり方を学びます。

具体的には、言葉の働き、言葉の仕組み、言葉の文化、言葉による学びと教育について、国語学、国文学、漢文学、書写、国語科教育などの専門領域ごとに徹底した少人数教育によって、基礎・基本から豊かな応用の世界まで探究していきます。これらを通して、確かな言葉の力を備えた小学校教員となることをめざすコースです。

主な授業科目

初等国語	国文学概論
初等国語科教育論	国文学Ⅰ・Ⅱ
国語学概論	漢文学概論
国語学Ⅰ・Ⅱ	書写Ⅰ～Ⅲ



3年 福森 良子

所属学生からのメッセージ・・・

このコースでは、国語科教育の専門的な知識を、少人数を活かした活発な授業や、3年生から入るゼミを通して身に付けることが出来ます。絵本には、実はこんな仕掛けが……！スイミーを別の視点から読んでみると、こんな発見が……！ほら、国語って面白そうでしょう？私たちと楽しくよく学び、素敵な小学校教員を目指しましょう！

国語科教育 コース

国語科授業実践に強い中学校・高等学校の教員を養成

国語科教育学と国語科内容学(国語学・国文学・漢文学)の専門科目のほかに、国語学(現代語・古典語)、国文学(古典文学・近現代文学)、漢文学を総合した授業科目を設けるとともに、書写も2年間の必修となっています。これらの学習を通して、国語科授業実践に強い中学校・高等学校の教員の養成をめざしています。

また、学部生・卒業生、大学院生・修了生、教員が一体となった鳴門教育大学国語教育学会があり、研究発表会を開催し、学会誌『語文と教育』を刊行しています。



3年 堀 楓花

所属学生からのメッセージ・・・

本コースでは教師に必要な力をつけたり、専門知識を学んだりすることができます。仲間と活動することが多い上、先生方との距離も近いので、仲間とともに苦手を克服しつつ確実な学びを得ることができます！古典できないし難しそう……教師になれるかな……など不安があって踏み出せないあなた！楽しく学べる本コースと一緒に国語科教員を目指しませんか？

主な授業科目

語学・文学総合演習Ⅰ～Ⅲ	国語学特論Ⅰ・Ⅱ
中等国語科教材論	国文学概論
中等国語科教育論	国文学特論Ⅰ・Ⅱ
中等国語科授業論	漢文学概論
国語学概論	書写Ⅰ～Ⅲ

英語科教育 コース

英語教育をデザインし、児童の英語コミュニケーション力の基礎を育成することができる小学校教員を養成

学習指導要領の改訂に伴い、小学校高学年の英語が教科化され、中学年における外国語活動も始まりました。そのために、高度な英語指導力を備え、専科教員としても指導が可能な小学校教員の確保が急務とされています。

本コースは、小学校の英語教育をデザインし、児童の英語の力を伸ばしていくことができる小学校教員を養成することを目標にしています。外国人教員を含む充実したスタッフによる徹底した少人数指導の下で、言葉の仕組みや英語圏の多様な文化について学び、児童を対象とした英語指導について研究しその実践力を養います。

あなたもいっしょに小学校の英語教育をリードしていく教員をめざしませんか。

主な授業科目

初等英語科教育論
初等英語
英語科教育論 I～IV
英語学概論
学習英文法
英語音声学
英文学史・米文学史

英米文学研究 I・II
比較文化研究 I・II
英語オーラルコミュニケーション I・II
主免教育実習（附属小学校）
英語コミュニケーションV（海外語学研修）



所属学生からのメッセージ・・・



4年 登 萌花

みなさんが考える英語の魅力はなんですか？本コースでは、英語教育のほかにも、様々な英語に関する授業があります。模擬授業や専門科目を通し、新たな英語の魅力を知ることができます。そしてそれらは教師になった際にきっと役に立つはずです。みなさんもユーモア溢れる仲間、先生方とともに教師になるという夢を目指しませんか？

英語科教育 コース

英語授業をデザインし、生徒の英語コミュニケーション力を育成することができる英語教員を養成

世界に発信するために、言葉としての英語の役割が大切になっています。そのために、学校教育の中で英語教育の必要性がますます叫ばれています。

本コースは、小学校英語教育を意識しながら中学校や高等学校における英語授業をデザインし、生徒の英語コミュニケーション力を育成できる英語教員を養成することをめざしています。外国人教員を含む充実したスタッフによる徹底した少人数指導の下で、英語学や英米文学を通して言葉の仕組みや多様な文化に関する教養を深めるとともに、グローバルな時代に対応する英語の指導方法の基礎を研究しその実践力を養います。

あなたも将来の英語教育を牽引しませんか。

主な授業科目

英語科教育論 I～IV
初等英語科教育論
英語学概論
英語学研究 I・II
英語音声学
英文学史・米文学史

英米文学研究 I・II
比較文化研究 I・II
英語オーラルコミュニケーション I・II
主免教育実習（附属中学校）
英語コミュニケーションV（海外語学研修）



所属学生からのメッセージ・・・



4年 向井 葉南

本コースでは、O.Henry など有名作家の作品を読む英語文学や英語学、また、英語教育について深く学ぶ授業等があり、多くの授業実践を通して英語教師になるために必要な様々な力をつけることができます！鳴門教育大学に入学して、教員を目指す多くの仲間と切磋琢磨しながら「教員になる」という夢を叶えませんか？

社会科教育 コース

社会のなかで心優しく、そしてたくましく生きていけるような人間を育てる

社会科は、人間と社会について学ぶ教科です。社会科は、戦後に生まれた新しい教科です。人間は社会の中で他の人々と様々な欲求や利害を調整しながら生きています。その社会の過去や同時代の環境、仕組みや政治、経済活動について学ぶことができます。

社会科は暗記の教科ではありません。社会や人間のことをよく考え、どのような在り方が望ましいのか、みんなで協力して社会をつくっていくことのできる技能や態度を身につけるために、探究するのです。人間や社会のことを探究することは、とても楽しいことなのです。

そんな楽しみを与えてくれる教科の学習が社会科なのです。

主な授業科目

教育実践基礎演習

初等社会科教育論

初等社会

日本史学概論

外国史概論

地理学概論

法律学概論

社会学概論

経済学概論

哲学・倫理学概論



3年 堀田 陽太

所属学生からのメッセージ・・・

社会科教育コースは社会的な見方・考え方を身につけるだけではなく、それをどのように子どもたちに身に付けさせるかについても学ぶことができます。また小学校教育専修では他教科の内容についても学ぶことができ、社会科との関連を図った、教科横断的な授業を実践できることを目指します。皆さんも私たちと一緒にこの大学で学んでみませんか？

社会科教育 コース

社会の過去・現在・未来、その動きや環境・仕組みについて学ぶ

社会のなかで心優しく、そしてたくましく生きていけるような人間を育てること、それが社会科の目的です。中学校の社会科は、地理・歴史・公民の各分野の授業が連携して、この目的を達成しようとしています。

そのためには、人文科学や社会科学とよばれる様々な学問に触れ、みなさん自身が“社会を見る眼”を鍛えておかねばなりません。そして、それらの成果を子どもたちの学びの糧に変換していくための手立てについても考えておかねばなりません。

社会科教育コースは、そのための多様な機会を提供しています。

主な授業科目

教育実践基礎演習

中等社会科教育論

中等社会科授業論

日本史学概論

外国史概論

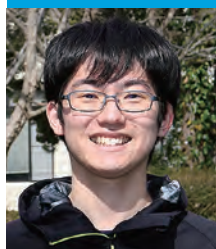
地理学概論

法律学概論

社会学概論

経済学概論

哲学・倫理学概論



3年 安藤 瑞輝

所属学生からのメッセージ・・・

本コースは地理、歴史、公民の3分野から現代社会を「多様な視点で見る目」を養うとともに、社会科教育についても学びます。私たちが見ている社会は常に変化していきます。その変化を「なぜ」と問うことで、変化の要因を見つけることができます。皆さんも社会にある「なぜ」を一緒に見つけてみませんか？

算数科教育 コース

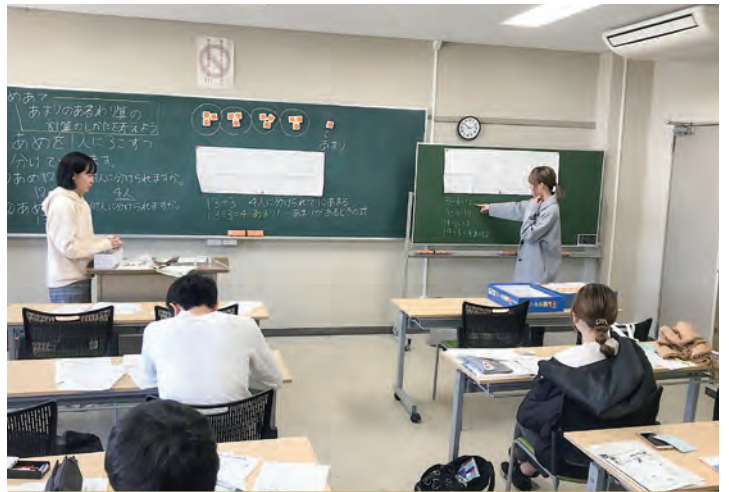
より高い見地からの教育ができる教員を養成

数や図形の性質、さらにそれらに関わる数理的概念やその考え方を、幼い頃から身につけることにより、より豊かな知的活動を経験することができます。

本コースでは、小学校算数の授業内容について、基本的な内容や課題などについての考え方や解決の方法を通して、そこに現れる数学的な概念や教材の分析、指導法が、日常生活との関わりの下で講義されます。また、より高い見地からの教育ができる教員を養成するために、現代の数学への入門的講義を、高校の基礎から段階的に行っています。更に、コンピュータ活用に関する基礎的な講義も行われます。

主な授業科目

算数	幾何学Ⅰ
算数科教育論	解析学Ⅰ
数学科授業論	確率・統計学
数学科教材論	計算数学
代数学Ⅰ	



所属学生からのメッセージ・・・



4年 宮本 志野

算数科教育コースでは、数学の専門知識に加え、算数・数学の教育方法を学んでいます。新しい知識や考え方を身につけることで、よりよい教育についてしっかり考えていくことができます。多くの子どもたちの理解を深める授業づくりを目指して、一緒に学んでみませんか？

数学科教育 コース

数学の本質を理解し、深い指導ができる教員を養成

数学科教育コースでは、数学科の教員をめざす人々に対して、数学の本質を理解し、深い指導ができる教員を養成することを目的としています。そのために、数学教育の指導法、教育内容に関わる講義、及び、数学の理解を深めるための現代数学の諸分野に対する講義を行っています。

まず大学における専門科目を理解するために必要となる基本的事項について講義を行います。高校時代までに履修できなかった内容を身につけるとともに、しっかりと基礎を固めた上で数学教育、現代数学の専門科目の講義に臨み、さらに、ゼミナール等を通して数学科の教員となるべき資質・能力を身につけます。

主な授業科目

数学科授業論	確率・統計学
数学科教材論	計算数学特論
代数学Ⅱ	基礎数学Ⅱ
幾何学Ⅱ	数学科教育学特論
解析学Ⅱ	



所属学生からのメッセージ・・・



3年 大内さゆり

数学科教育コースでは、大学数学の専門知識は勿論、数学教育についても基礎から丁寧に学んでいます。そして、この専門性と教育学の両方の側面から数学を捉え、考えを深められる点が本コースの魅力だと思います。子どもたちに数学を楽しみと思ってもらえる授業・教員を私たちと共に目指していきましょう！

理科教育 コース

「すべての子どもに、高いレベルの科学をやさしく教える」ことのできる教員を養成

小学校教育専修・理科教育コースでは、「すべての子どもに、高いレベルの科学をやさしく教える」ことの出来る教員を養成することをめざしています。高校以前の理科内容を出発点とする自然科学の入門的講義に加え、より専門的な内容を加味した物理・化学・生物・地学の各分野に関する講義や実験を行うとともに、「理科嫌いの子どもを作らないための授業」の工夫などの実践的な実習を行います。教員養成系大学の中でもトップクラスの最新実験設備や研究用機器を用いて、未解決の問題の解明をめざし、より高度な実験技術を身につけるとともに、問題解決の方法や科学的な考え方を学び、小学校教員として必要な素養を養います。

主な授業科目

初等理科	地学 I～Ⅲ
物理学実験	地学巡検
化学実験	初等理科教育論
生物学実験	中等理科（物理学分野）
地学実験	中等理科（化学分野）
物理学 I～Ⅲ	中等理科（生物学分野）
化学 I～Ⅲ	中等理科（地学分野）
生物学 I～Ⅲ	卒業研究



所属学生からのメッセージ・・・



3年 酒巻 菜穂

理科教育コースでは、実験を含む専門科目の授業をはじめとして、教育現場では欠かせない指導案の作成指導や近年の教育現場の動向など、幅広い内容を学ぶことができます。これらのカリキュラムによって、理科の深い理解をもった小学校教員を目指すのに最適なコースです。

理科教育 コース

授業を通じてバランスのよい知識を身につけ、研究を通じて新しい知識を吸収・活用する能力を養う

中学校教育専修・理科教育コースでは、物理・化学・生物・地学の各分野について、高等学校までに未履修の内容を補いつつ、ハイレベルな自然科学にいたる講義、実験・実習を行っています。大学入学までに学ぶことのなかった分野も、教育現場で必要となる知識をバランスよく身につけることができるカリキュラムを組んでいます。また今日の急速な科学・技術の発展により、理科教師には、日々更新される最新の科学的知識を生かした理科授業が求められるようになっています。本コースでは、卒業研究を通じて科学的探究の最前線に立つことにより、新しい科学的知識を吸収・活用していく能力を養成します。

主な授業科目

物理学実験	地学巡検
化学実験	中等理科教育論 I～Ⅳ
生物学実験	中等理科（物理学分野）
地学実験	中等理科（化学分野）
物理学 I～Ⅲ	中等理科（生物学分野）
化学 I～Ⅲ	中等理科（地学分野）
生物学 I～Ⅲ	卒業研究
地学 I～Ⅲ	



所属学生からのメッセージ・・・



3年 松本 佳大

理科教育コースは、専門的な授業や実験を通じて、理科教員としての資質・能力を身につけることができます。さらに、教材開発などの豊富なカリキュラムにより幅広く学べます。自然科学への情熱を共有し、私たちと一緒に理科を楽しく教えられる教員になりましょう！

音楽科教育 コース

幅広い知識と技能、全人格的な指導力を備えた小学校教員をめざす

小学校教育専修・音楽科教育コースでは、小学校および中学校音楽科教員免許に加えて、履修する単位によっては高等学校音楽科や幼稚園の免許を取得できます。

入学後は専門分野である声楽、器楽、音楽理論、ソルフェージュ、作曲、指揮、音楽科教育などを学びながら音楽への理解を深めるとともに、教材研究や模擬授業などを通して音楽科教員としての資質の向上をめざします。

3年次生になると声楽、器楽、指揮および音楽科教育の各分野から専攻を決めて、指導教員の下でより高度な研究を行い、卒業研究を論文あるいは公開演奏のいずれかで発表します。以上は中学校教育専修と同様ですが、小学校教育専修の場合は小学校で教える様々な教科の内容および指導法などについて、より幅広く学びます。

主な授業科目

初等音楽科教育論

初等音楽 I・II

ソルフェージュ

声楽（合唱を含む。）

声楽基礎 I・II

器楽（合奏及び伴奏を含む。）

ピアノ基礎 I・II

管弦打楽器基礎 I・II

指揮法

音楽の理論と歴史（作曲法・
編曲法及び日本伝統音楽・
諸民族音楽を含む。）



3年 藤田 京子

所属学生からのメッセージ・・・

本コースでは、歌唱や器楽、指揮等の技能科目だけではなく音楽の理論や音楽通論など音楽について幅広く深く学ぶことが出来ます。そして、講義では教育について深く学べることはもちろんのこと、現職の先生方から現場の声を聞かせていただける機会も多々あります。このように充実した環境の中で一緒に音楽を学びませんか？

音楽科教育 コース

専門的知識と技能を兼ね備え、授業を通して生徒の生きる力を伸ばせる音楽科教員をめざす

中学校教育専修・音楽科教育コースでは、小学校および中学校と高等学校の音楽科教員免許に加えて、履修する単位によっては幼稚園や他の教科の中学校免許を取得できます。

入学後は専門分野である声楽、器楽、音楽理論、ソルフェージュ、作曲、指揮、音楽科教育などを学びながら音楽への理解を深めるとともに、教材研究や模擬授業などを通して音楽科教員としての資質の向上をめざします。

3年次生になると声楽、器楽、指揮および音楽科教育の各分野から専攻を決めて、指導教員の下でより高度な研究を行い、卒業研究を論文あるいは公開演奏のいずれかで発表します。以上は小学校教育専修と同様ですが、中学校教育専修の場合は、音楽科教員としての専門性を高めるために、音楽の各分野の授業を履修することで、さらに深く学びます。

主な授業科目

中等音楽科教育論

中等音楽科授業論

ソルフェージュ

声楽（合唱を含む。）

声楽基礎 I・II

器楽（合奏及び伴奏を含む。）

ピアノ基礎 I・II

管弦打楽器基礎 I・II

指揮法

音楽の理論と歴史（作曲法・
編曲法及び日本伝統音楽・
諸民族音楽を含む。）



3年 加集 菜月

所属学生からのメッセージ・・・

本コースは、音楽教員に必要な専門的な知識・技能を仲間と高めあいながら学ぶことができます。少人数のため手厚い指導を受けることができ、自身のスキルアップにつながる環境が整っています。専門的な知識・技能と確かな授業力を身につけた教員を共に目指しませんか。

図画工作科教育 コース

造形芸術の基礎的な技能と理論を身につけるとともに、教員としての資質を向上

図画工作科教育コースでは、絵画、彫刻、デザイン、工芸の実技制作と美術理論・美術史及び美術教育理論等を広範に学び、造形芸術の基礎的な技能と理論を身につけ教員としての資質の向上をめざします。また、小学校現場での指導技能や実技能力の養成を図っていきます。

3年次からは、これらの専門分野の中から各自が一つを選択し、卒業研究へと発展させていきます。卒業研究は、論文または作品制作としてまとめることができるのも本コースの特徴です。その成果は、学外の美術館において発表しています。

主な授業科目

図画工作 I
絵画 I
素描
彫刻 I
構成・デザイン I
工芸 I

美術理論・美術史 I
図画工作科教育論
美術科教育論
美術科教材開発実践研究*
地域ワークショップデザイン*



4年 米津 千彩

所属学生からのメッセージ・・・

このコースでは教育の知識だけではなく美術の専門的な技術も習得することができ、より専門性の高い図工・美術教員を目指すことができます。また、少人数制で学生ひとりひとりが先生からの手厚いご指導を受けることができ、自分のやりたいことを存分に追求することができます。ぜひ私達と美術や教育について学びませんか。

* 徳島大学・鳴門教育大学・香川大学の3大学連携による授業。2023年以降入学生が対象。

美術科教育 コース

表現の喜びと生きる力を育んでいくことができる創造性豊かな教員を育成

美術科教育コースでは、絵画、彫刻、デザイン(グラフィック、映像)、工芸(陶芸)の実技制作と、美術理論・美術史及び美術教育理論等の学習を通して、人間と造形文化と教育に関するより深い理解と専門的な技能を修得し、表現の喜びと生きる力を育んでいくことができる創造性豊かな教員の育成をめざしています。

3年次からは、各自が専攻分野を定めて、指導教員のもとでより専門性の高い研究に取り組み、卒業研究(論文または作品)にまとめます。その成果は、学外の美術館において発表しています。

主な授業科目

絵画演習 II*
彫刻 II
彫刻特別演習
構成・デザイン II
構成・デザイン特別演習
工芸 II

工芸材料研究
美術科教育論
美術科授業論
先端芸術表現論*
20世紀の美術理論と現在*



4年 植原 彩乃

所属学生からのメッセージ・・・

美術科教育コースでは、充実した設備や環境の中で基礎から専門まで幅広く学び、美術教員として必要な豊かな知識や技能、教育方法を修得することができます。先生方の手厚いご指導の下、自身の制作や同じ志を持った仲間との交流を通して美術教育に対する理解を深めることができます。あなたも、この大学で美術を学びませんか。

* 徳島大学・鳴門教育大学・香川大学の3大学連携による授業。2023年以降入学生が対象。

体育科教育 コース

各種の運動技能と指導力を高める体育科学の理論について理解を深め、研究技法を習得

小学校の体育科は、生涯にわたって運動やスポーツを豊かに実践するための資質や能力、健康で安全な生活を営む実践力及びたくましい心身を育てることによって、現在及び将来とも楽しく明るい生活を営むための基礎づくりを目標としています。その目標に沿って、体育科教育コースでは、体づくり運動、器械運動、陸上運動、水泳、ボール運動、野外活動、表現運動、保健の領域の学習指導の知識を深め、各種の運動技能と指導力を高めることを目指します。さらに、保健体育科教育学、体育学、運動学、学校保健の領域の専門的理論について理解を深め、研究技法を習得し、卒業論文の作成に取り組みます。

主な授業科目

健康・スポーツ科学
初等体育
体育科教育論
保健体育科教育論
運動方法
体育哲学
体育心理学

体育経営管理学
体育社会学
運動学
生理学
衛生学・公衆衛生学
学校保健



所属学生からのメッセージ・・・

体育科コースでは、技能や専門知識を学ぶことができます。新しい知識や教え方を身に付けることで実際に授業をする際に、よりよい授業にするためにはどうすればいいかを考えることができます。私たちと共によりよい教員になることを目指していきませんか。

4年 佐川友季子

保健体育科教育 コース

幅広い運動技能と指導力を高める多様な体育科学の理論と応用について理解を深め、研究技法を習得

中学校教育専修の保健体育科教育コースでは、中学校保健体育科の目標に沿って、体づくり運動、器械運動、陸上競技、水泳、球技、武道、野外活動、ダンスなどの種目、保健の領域の学習指導の知識を深め、小学校教育専修体育科教育コースより専門性の高い運動技能と指導力を育成します。また、多様な体育科学の理論と応用について理解を深め、研究技法を習得することを目指しています。

体育・スポーツに関わる諸問題に対して、強い好奇心を持っている体育科・保健体育科教育コースの学生の教育・研究の指導には5名の教員が携わり、2年次後半から希望に応じて各教員の研究室に所属し、卒業論文の作成に取り組みます。

主な授業科目

健康・スポーツ科学
初等体育
体育科教育論
保健体育科教育論
運動方法
体育哲学
体育心理学

体育経営管理学
体育社会学
運動学
生理学
衛生学・公衆衛生学
学校保健



所属学生からのメッセージ・・・

本コースでは、多彩な運動領域の実践を通して各種目の運動能力を高め、運動学などの専門知識、体育実技、保健・体育理論の教授法を学ぶことができます。また、スノースポーツやウォータースポーツなどの野外活動も体験できます。先生からのご指導も手厚い環境で授業実践力を高め、一緒に素敵な教師を目指しませんか。

4年 加藤木乃香

技術科教育 コース

ものづくりと情報が得意な小学校教員を育てる

現代的な教育課題を理解し教育実践できる小学校教員になるために、技術科教育コースではものづくりと情報に重きをおいて学習し、同時に、科学技術が社会で果たす役割についても学びます。

特に、これらのテーマに関するいろいろな実験実習や体験的な学習を通して、実践的な技能や技術を身につけ、総合的な学習などへ適切に活用できる能力と態度を養います。

卒業時には小学校一種免許と中学校技術二種免許を取得できます。また、指定科目の単位を追加取得することで、中学校技術一種免許、高等学校工業一種免許、高等学校情報一種免許等も取得できます。

主な授業科目

教育実践基礎演習	情報技術基礎(実習を含む。)
技術科教育論 I・II	生物育成
材料加工学 I・II	ICT活用教科教育実践演習
機械基礎(実習を含む。)	主免教育実習
電気基礎(実習を含む。)	副免教育実習



4年 田中 里奈

所属学生からのメッセージ・・・

本学は、「教師になりたい」という強い志を持った生徒が集まっているので、同じ志を持った仲間と切磋琢磨できます。また、少人数の授業が多いため、大学教員の方とマンツーマンで指導を受けることができます。本学は、教師になるために必要な知識や技能を十分に学ぶことのできる素敵な大学です。皆さんも本学で教師を目指してみませんか？

技術科教育 コース

技術科教育の実践力と教材開発能力を育てる

ものづくりと情報を二本柱として、材料加工、機械、電気、生物育成、情報と技術科教育について学びます。社会から求められる教育実践力を育て身につけるために、これらの専門領域について理解し、いろいろな演習と実習によって生きた知識と活用能力を養い、それをバネにして技術科教育の実践力と教材開発能力を育てます。附属学校などで自ら学ぶチャンスにも恵まれています。

卒業時には中学校技術一種免許と小学校二種免許、高等学校工業一種免許を取得できます。また、指定科目の単位を追加取得することで、小学校一種免許、高等学校情報一種免許等も取得できます。

主な授業科目

教育実践基礎演習	情報技術基礎(実習を含む。)
技術科教育論 I・II	生物育成
材料加工学 I・II	工業科教育論 I・II
機械基礎(実習を含む。)	主免教育実習
電気基礎(実習を含む。)	副免教育実習



4年 森崎 勘悟

所属学生からのメッセージ・・・

材料加工、機械、電気、栽培といった「ものづくり」の分野とプログラミングやICT技術などの「情報」の分野を学ぶほか、技術科教育について学びます。講義ではこれらの専門領域の教養に加え、実習を経験することにより、高い教育実践力を養うことができます。

家庭科教育 コース

学校教育のなかで指導力を発揮することができる教員を養成

小学校の家庭科では、日常生活を送る上で必要な基礎的知識・技能の習得に加えて、日常生活上の課題を発見・改善していくことができる実践的な態度の育成をめざしています。子どもを主体的・自律的な生活者として育成するためには、生活全般を幅広い観点から総合的にとらえる能力が必要です。

本コースは、総合的な能力を培うことを通じて、学校教育のなかで指導力を発揮することができる教員の養成を目的としています。衣・食・住・家庭経営と幅広い分野の先進的な研究成果に基づく講義とともに、実験・演習、模擬授業や実習の機会を豊富に設けています。

主な授業科目

初等家庭科教育論	住生活学
家族論	子どもの発達と保育
消費生活論	食物学実験
衣生活学	被服学実験
食品栄養学	初等家庭



所属学生からのメッセージ・・・



4年 田中 心

本コースでは、家庭科の各分野における専門的な知識を身につけることに加え、模擬授業や実習がとて充実しており、教員になるための技術を習得することができます。少人数であるため、一人ひとりに合ったきめ細やかな指導が受けられ、安心して学生生活を送ることができます。明るくて楽しい家庭科コースで一緒に先生を目指しましょう！

家庭科教育 コース

理論と実践の両面を通じて専門性を備えた家庭科教員を養成

中学校の家庭科では、生活全般を人文・社会・自然の諸科学の観点からとらえ直し、持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を育成します。また、男女がともに生活者としての責任をもって生きていくために、生活の自立に必要な知識・技能を身に付けるとともに、生活の中から課題を発見し解決できる力を養います。

本コースでは、少人数での対話的学びを通じて、専門性を備えた家庭科教員の養成を目的としています。家庭経営学、被服学、食物学、住居学、家庭科教育学などの先進的な研究成果に基づいた体系的知識の習得と、演習や実習などによる実践力向上の両面を充実させています。

主な授業科目

中等家庭科教育論	住生活学
家族論	子どもの発達と保育
消費生活論	食物学実験
衣生活学	被服学実験
食品栄養学	中等家庭科教材論



所属学生からのメッセージ・・・



4年 小川 菜生

本コースでは、幅広い家庭科の知識をより深く学ぶことができます。また、少人数で授業を行うため、アットホームな雰囲気です。調理実習や被服製作実習などの実習が豊富で、実践的に楽しく学ぶことができます。皆さんも私たちと一緒に教員という夢を目指しませんか？

特別支援教育専修

特別支援教育に関わる教育学・心理学・医学の三分野において、教育理念、障害特性、指導法などを系統的に習得

特別支援学校（知的障害・肢体不自由・病弱）の教員を養成することを目的とし、小学校教諭一種免許状（基礎資格）と特別支援学校教諭一種免許状の取得を課しています。

障害のある児童・生徒や教育上特別な配慮を要する子どもたちについて、特別支援教育に関連する各学校現場での演習や実習を通して学びを深めることができます。これらの経験と合わせて、特別支援教育に関わる教育学・心理学・医学の三分野において、教育理念、障害特性、指導法などを系統的に習得し、専門性を培うカリキュラム体系をとっています。

主な授業科目

障害児教育概説	重複・LD等の特性
知的障害者の心理	重複・LD等教育総論
知的障害者の生理・病理	特別支援教育専修実習
知的障害教育	特別支援教育実習
肢体不自由者の心理・生理・病理	
病弱者の心理・生理・病理	



3年 有本 真菜

所属学生からのメッセージ・・・

本専修では、様々な障害特性などを教育的な面からも医学的な面からも学ぶことができます。また、講義で学んだ内容を踏まえて模擬授業を行ったり、特別支援学校での実習を行ったりします。

同じ志を持つ仲間と特別支援教育について学んでみませんか？

各専修・コースについてもっと知りたい時は 本学ウェブページへ！

鳴門教育大学公式ウェブページでは、より詳細な情報を掲載しています。ぜひ一度ご覧ください。

専修・コースをもっと詳しく知りたいとき

▶ <https://www.naruto-u.ac.jp/schools/01/003.html>

専修・コースの紹介や教員情報は
ここからチェック！



在学生のメッセージを読みたいとき

▶ <https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/06/>

在学生による専修・コースの紹介、鳴教大の魅力、
受験生に向けた応援メッセージなどを掲載！



オープンキャンパスの情報を知りたいとき

▶ <https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/02/013.html>



2024年度鳴門教育大学オープンキャンパス

2024年7月27日②

- 入学者選抜方法等の説明
- 個別相談
- 施設見学 など

※内容は変更の可能性があります。
※詳細及び申し込み方法等については、本学ウェブページでお知らせします。

ウェブオープンキャンパスも実施中

▶ <https://www.naruto-u.ac.jp/e-ouen/02/013001.html>



鳴門教育大学
公式YouTube
チャンネル



動画
コンテンツ
公開中！

CAMPUS

キャンパス

瀬戸内海

ウチノ海

学生宿舎

体育館

大学会館

講堂

日本庭園

バス乗車場

淡路島

大鳴門橋

大塚国際美術館

スクノ海

共通研究E棟

共通研究D棟

共通研究C棟

附属図書館

共通講義B棟

情報基盤センター

総合学生支援棟

共通研究A棟

地域連携センター

本部棟

正門

バス降車場

充実の附属教育研究施設

詳細は本学
ウェブページを
チェック



● 附属図書館

附属図書館は、授業期間中は平日は8時45分から21時まで、土曜日、日曜日、祝日は10時から17時まで開館しています。学生休業期間中は平日のみ8時45分から17時まで開館しています。

約38万冊の所蔵資料は全て図書館ウェブページで検索することができ、学内にない資料については他大学等から取り寄せることも可能です。教育関係資料では、国語・教育学分野を中心とした図書(約2万5千冊)を集めた「野地潤家文庫」(野地元学長寄贈)及び著名な教育実践家であった大村はま氏寄贈の学習記録、文献等(約1万冊)を集めた「大村はま文庫」があり、学内外の研究者の利用に供しています。

館内には一人で集中して学習するための研究個室やキャレルデスク(個人用机)、グループで学習するためのセミナー室、視聴覚資料や情報機器、英語学習資料を活用した学習ができるメディア・コモンズを備え、学習・研究環境の充実に努めています。入口近くのイノベーション・コモンズは和風カフェ風のスペースで、学習・研究の合間の憩いと交流の場となっています。

別棟のラーニング・コモンズ室には、小学校の教室の環境を再現した模擬授業エリアがあり、黒板や電子黒板、ホワイトボードなどを備えています。これらは、教員採用試験対策や模擬授業形式の授業に利用されています。

大学図書館としては珍しい児童図書室には、絵本や児童文学など、約2万冊の資料があります。子ども連れの一般利用者も多いため、学生にとっては実習以前の早い段階で日常的に子どもと触れ合う機会を得られる貴重な場となっています。



イノベーション・コモンズ



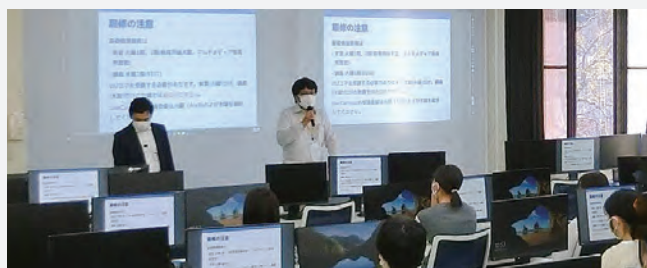
ラーニング・コモンズ室(模擬授業の様子)



児童図書室

● 情報基盤センター

情報基盤センターは、教育研究用の情報環境を提供する学内共同施設です。情報システム分野、情報教育分野それぞれの専門分野の教員(兼務)および職員にて構成されています。また事務系の情報環境を整備する情報システム係とも協力して学内のICT利用を支援します。文書作成や表計算、プレゼンテーションなどのソフトウェアやクラウドサービスを提供し、学内Wi-Fiなどネットワーク整備も行っています。これらのサービスは学内の端末から利用できることはもちろん、個人所有のパソコンやタブレット、スマートフォンからも利用できます。また電子黒板や教育向けのプログラミング環境も導入しており、ICT教育をより実践的に学ぶことができる環境整備を行っています。



情報機器の紹介

本学には、有線及び無線で構成される情報通信ネットワークとWindows PCを中心とした端末機やプリンタなどが整備されています。これら情報機器は端末室や附属図書館に設置されています。Windowsは、どの端末からでも利用者個人の設定が読み込まれ、どこでも同じ環境で利用できます。ソフトウェアとしては文書作成、表計算、プレゼンテーションなどから、教育向けプログラミング環境が利用できます。また、大判プリンタや3Dプリンタ、レーザーカッターといった出力装置も利用でき、学習活動から研究活動まで幅広く支援できる環境を整えています。学内にはWi-Fiネットワークも整備されており、附属学校を含む学内の広いエリアでのネットワーク利用が可能です。



大判プリンタ



レーザーカッター



3Dプリンタ

● セルフデザイン型学修支援センター

変化が激しく予測が困難な「VUCA」の時代、教師になるみなさん、また児童生徒、さらに教師には、自分の知識・スキル・経験をフルに活用して、試行錯誤し、他者と協働しながら問題を解決し新しい価値を生み出していくための力が必要です。鳴門教育大学では、「創造的実践者としての教師」を育てることを目指して、セルフデザイン型学修支援センターを立ち上げました。学生のみなさんが自身の学びを記録し振り返ることを支援する「e-ポートフォリオシステム」を開発し、みなさんが自身で自分の学びをデザインすることをサポート、これからの時代の教師として必要な力の育成を図ります。

● 教育実習総合支援センター

教育実習総合支援センターは、実地教育部門、教職大学院(教科・総合系)実習部門、教職大学院(教職系)実習部門、N-CBT部門から成り、実習に係る事前・事後指導など学生への教育実習等の支援を業務とするセンターです。実地教育部門では、大学院生も含めた教員免許状の取得を目指す全ての学生に、附属校園や協力校園での教育実習や、社会福祉施設などでの介護等体験に関する支援を行います。教職大学院(教科・総合系及び教職系)実習部門では、学校現場に赴き、観察実習や支援型実習を通じ、教職や教科等の領域における確かな専門性や実践力について、ワンランク上の力量を形成できるようサポートします。N-CBT部門では、教育実習の質の充実を図るため、学生が今身につけている「教員として必要な資質能力」を確認するテストの開発と実施を行っています。そのほか、実習等における学生の不安や問題の解決にも務めています。



● 地域連携センター

地域連携センターは、学部・大学院・各種教育関係機関・地域社会との密接な連携の下に、教育に関する諸課題の解決や地域社会の教育力向上をめざして、教育実践・研究成果の公開や地域社会への啓発事業などを行っています。

本センターには、学校支援分野および教育連携コーディネート分野が設置されており、それぞれ専門分野の教員が業務を行っています。

また、センター内には、学内の共同の教育研究施設として、教職員・大学院・学部学生が利用できる教室・設備があります。



鳴門市学園都市化構想「保幼小連携推進研究事業」

● 小学校英語教育センター

本学では、2005(平成17)年4月に、小学校英語教育の充実・発展を目的として小学校英語教育センターを設置し、小学校英語教育における研究開発の推進及び小学校英語担当教員研修などを実施しています。



センターには、カリキュラム開発分野と研修・支援プログラム分野の2分野があり、主として次の事業を行って学校現場の小学校英語教育をあらゆる面からサポートしています。

- (1) 小学校英語教育の指導法及びカリキュラム開発に関する研究
- (2) 小学校英語教育担当教員の研修のためのプログラムを提供し、研修会を実施
- (3) 小学校英語教育に関する相談に常時対応

この他、教育委員会や学校と連携して「地域の小学校への助言指導」、「小学校英語教育ネットワークの構築」、「シンポジウムの開催」、「附属学校の授業支援」など多岐にわたる活動を行います。

● 心身健康センター

心身健康センターは、心身医療・健康管理に関する業務及び学校関係者などからの心理・教育相談に関する業務を行っています。

心身医療・健康管理分野では、学校保健と産業保健に規定された業務として学生と職員を対象とした各種定期健康診断と事後指導を行っています。また、医師、看護師およびカウンセラーによる心身の疾患に対する日常診療も行っています。さらに、医学的な見地から心身の健康に関する研究を行い、学部生や大学院生に対して教育と研究指導を行っています。



● 予防教育科学センター

予防教育科学センターでは、子どもたちの健康と適応を守るため、新しい学校予防教育を展開しています。エビデンス(科学的根拠)に基づき実施されるこの教育は、自己肯定感、感情コントロール力、そして共感力などを育みながら、幅広く子どもたちを守り育てます。

「子どもたちの笑顔に満ちた未来のために!」いっしょにこの教育を学びましょう!



● 生徒指導支援センター

生徒指導は、児童生徒が社会の中で自分らしく生きる事ができる存在へと自発的・主体的に成長や発達する過程を支える教育活動であり、学習指導と並んで重要です。しかし、いじめ・不登校・暴力行為への指導や保護者対応等の課題は尽きません。教員及び学校の生徒指導力を向上させる事により、生徒指導上の諸問題を解消する事を目指しています。



● 発達臨床センター

一人ひとりの子どもたちのニーズに応じることができる持続的で包摂的な教育と社会の実現が求められています。発達臨床センターでは、発達の多様性に応じることのできる教員の養成のために大学教育を充実させることや、地域における発達支援の実践研究を積み重ねることで地域の支援力を向上させることを目指し、日々業務に取り組んでいます。



● 教員教育国際協力センター

教員教育国際協力センターは、開発途上国の教育課題に対応した教員研修、研究、実践を進めるとともに、国際化に主体的に対応できる人材(グローバル教員)養成を為すこと、本学の培ってきた国際教育協力経験を社会に提案、還元することを目的としています。あなたもグローバル教員を目指して、本センターの活動に参加してみませんか?



キャンパスカレンダー

多彩な行事を通じて、仲間たちと出会う
鳴門教育大学の一年

2024

2025

4

5

6

7

8

9

10

11

12

1

2

3

前期

後期

4月 1日(月)～ 4月 7日(日)

春期休業

4月 8日(月)

入 学 式

4月 8日(月)～ 4月 9日(火)

新入生オリエンテーション

4月 9日(火)～ 4月10日(水)

新入生研修(合宿形式)

4月11日(木)

授業開始

5月21日(火)～ 5月22日(水)

附属校園観察実習(3年)

7月31日(水)～ 8月 6日(火)

前期試験期間

8月10日(土)～ 8月21日(水)

夏期休業

8月22日(木)～ 9月 1日(日)

集中講義

8月26日(月)～9月30日(月)のうち2週間

教員インターンシップ(4年)

9月2日(月)～9月30日(月)のうち11日間

保育所実習Ⅰ(2年)

9月2日(月)～9月30日(月)のうち11日間

保育所実習Ⅱ(4年)

9月 2日(月)～ 9月27日(金)

主免教育実習(3年)

9月 6日(金)及び9月10日(火)

ふれあい実習(事前指導・観察実習/1年)

9月11日(水)、9月12日(木)のうち1日

ふれあい実習(交流実習Ⅰ/1年)

9月18日(水)～9月26日(木)のうち1日

ふれあい実習(交流実習Ⅱ/1年)

9月30日(月)

2年次生研修

10月 1日(火)

創立記念日

10月 2日(水)

授業開始

10月9日(水)～10月22日(火)のうち10日間

施設実習(2年)

10月21日(月)～10月25日(金)

特別支援教育専修実習(4年)

9月2日(月)～11月8日(金)のうち2週間

特別支援教育実習(4年)

10月11日(金)～10月12日(土)

3年次生研修(合宿形式)

10月28日(月)～11月15日(金)のうち2週間

副免教育実習(4年)

11月 8日(金)～11月10日(日)

大 学 祭

12月14日(土)～12月27日(金)

集中講義

12月28日(土)～ 1月 3日(金)

冬期休業

2月14日(金)～ 2月20日(木)

後期試験期間

3月 1日(土)～ 3月31日(月)

学年末休業

3月18日(火)

学位記授与式



入 学 式



新入生合宿研修



大 学 祭



2年次生研修



学位記授与式

サークル・部活動

学業以外に自己の可能性を探求し、
広く活動の場を求める

鳴門教育大学では、現在体育系21団体、文化系20団体の多彩なサークル・部活動があり、多くの学生が積極的に活動を行っています。

サークル・部活動により、自我の形成を図り、社会人とし

て責任ある行動をとり得る豊かな人間性を育てるとともに、学業以外に自己の可能性を探求し、広く活動の場を求め、友人や顧問教員との交流を深めています。

体育系

- 野球部
- 剣道部
- 陸上競技部
- バドミントン部
- 水泳部
- サッカー部
- 弓道部
- 男子バスケットボール部
- 女子バスケットボール部
- 男子硬式テニス部
- 女子硬式テニス部
- 男子バレーボール部
- 女子バレーボール部
- 男子ハンドボール部
- 女子ハンドボール部
- 柔道部
- 鳴響連

同好会

- 軟式野球サークル
- 居合道同好会
- ダンス同好会
- ソフトテニスサークル



男子バレーボール部



サッカー部



ダンス同好会



男子バスケットボール部



鳴響連



男子ハンドボール部



文化系

- 児童文化研究会
- フィルハーモニー管弦楽団
- 軽音楽部
- 人形劇団ころぼっくる
- 書道部
- 茶花道部
- 合唱団'tadpole'
- 手話サークル「ぱびぷぺぽ」
- 劇団「どや!!」
- 吹奏楽団"Cantabile"
- 茶道部「一期一会」
- 総合学習研究会(ふれアク)
- 文芸部
- 点字・点訳研究会

同好会

- 鳴教子どもアートプロジェクト
- 鳴教学生日本語教室
- 鳴門教育大学放送研究会
- 学歌を歌う会
- 鳴門教育大学子ども未来応援プロジェクト
- 競技かるた同好会



劇団「どや!!」



吹奏楽団"Cantabile"



鳴教子どもアートプロジェクト



総合学習研究会ふれあいアクティビティ



在学生からの メッセージ

信頼される教師を目指して

私が教師を目指したきっかけは、小学校時代に出会った先生です。授業はとても楽しく、悩み事にも真摯に向き合ってくれました。その先生のおかげで学校を一つの居場所と感ずることができるようになり、私も誰かに居場所を作ってあげたいと思い、教師を目指し始めました。私は徳島県出身であり、教員就職率が高くて、少人数である鳴門教育大学を志望することになりました。

大学の講義は、教師を目指す私たちにとって、とても魅力的なものばかりです。各教科について専門的に学べたり、学校教育について全般的に学べたりなど、数多くの授業を受けることができます。授業の中には、模擬授業を行ったり、ピアノを弾いたり、運動をしたりといった活動もたくさんあり、教師の視点と子どもたちの視点の両方から実践的に学ぶことができます。

私はサークル活動として、学生会とダンス同好会に所属しています。学生会では、学生会会長として、様々なイベントの企画や運営を行ってきました。また、ダンス同好会では、定期的にライブを開催して

楽しく踊っています。鳴門教育大学には、渦フェスという学生会主催のサークルを紹介するイベントがあり、多くの学生はそこで所属したいサークルを選びます。兼部している学生も多く、少ない人数ですが、色々なサークルが熱心に活動しています。

また、主免教育実習では、小学校に行きました。実際に子どもたちの前で授業を行ったり、ともに学校生活を送ったりする中で、教師になりたいという気持ちが高まりました。担任の先生にアドバイスをいただいたり、実習生の仲間と協力し合ったりして、とても濃い一か月間を過ごすことができました。

私は、子どもたちから信頼される教師になりたいです。そのためには、わかりやすい授業や安心して学校に通える学級づくりが大切であると考えています。鳴門教育大学での講義や実習などの貴重な経験を通して身につけた力を、教師になった際に発揮できるようにこれからも頑張っていきたいと思っています。ぜひ私たちと一緒に鳴門教育大学で教師を目指してみませんか。

田井 芳乃

小学校教育専修
学校教育実践コース
4年

2023年度
入学

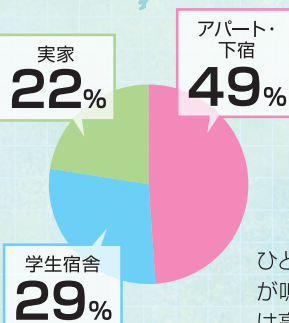
これぞ

鳴教生キャンパスライフ

2年生の先輩にアンケート

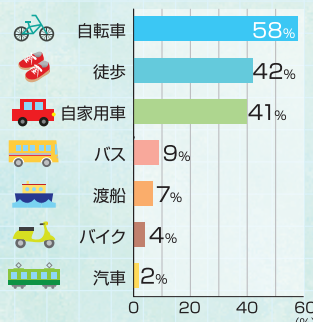
大学生になるとみんなアルバイトはしているの？ サークル・部活には入っているの？
気になる疑問を調査しました。

Q1 どこに住んでいますか？



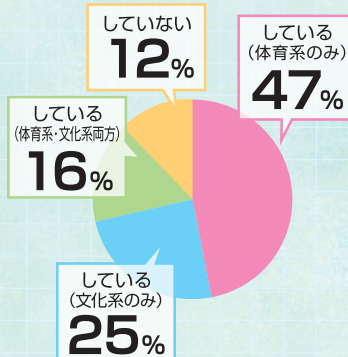
ひとり暮らしをしている人のうち4人に3人が鳴門市内に住んでいて、そのうちの9割は高島に住んでいる模様。

Q2 普段の移動手段は？ (複数回答)



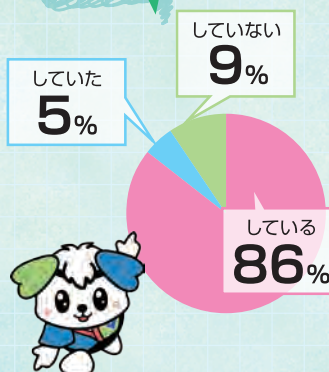
大学のある高島から鳴門市中心部へは、めずらしい渡船(無料)が出ている。自転車やバイクも乗船できるので、買い物に行くときなどにも利用しやすい。

Q3 サークルや部活動はしていますか？



サークルや部活動をするメリットを聞いてみると、「交友関係が広がる」「友達が増える」という意見が1番多かった。
また、生活の充実感や楽しみながら活動をすることで心身の健康にもつながるという意見も多かった。
鳴教生は、P27にあるサークルや部活動を行い、仲間たちといろんなイベントに参加している。鳴教は体育館や野球場、陸上競技場やトレーニングルームなど運動施設も充実しているため、体育系のサークル・部活動も活発な様子。

Q4 アルバイトはしていますか？



鳴教生のアルバイトで1番多いのは、飲食店、2番目に多いのは塾講師や家庭教師、学童保育など教育関係だった。その他にも事務、受付、販売など幅広い選択肢がある様子。飲食店と教育関係など掛け持ちをしている学生も少なくないよう。



Q5 鳴門教育大学の1番いいところは？



1 少人数の教育体制



2 学生同士の仲の良さ



3 環境の良さ

教員を目指す仲間が集まっていることや少人数制の手厚い教育体制、充実した実習など鳴教の環境の良さは、鳴教生もキャンパスライフを通して実感している様子。

鳴教生の1日

のびのびと学びにひたれるキャンパスここにあり。

小学校教育専修 体育科教育コース

新井 伊織さん(2023年度入学)

入学してからの生活について

落ち着いた空気感の中、学びやサークル活動、友達との遊びにひたっています。私は車を持っていないので、スーパーへの買い物は、渡船を使っています。とてもありがたいです。

留学生の方も多数在籍しているため、普段の生活の中で国際交流ボランティアの活動をはじめとして、海外の方や自分たちとは違う文化圏の方と交流できる機会に恵まれている環境は本当にありがたいです。

日常生活の写真



趣味・息抜き

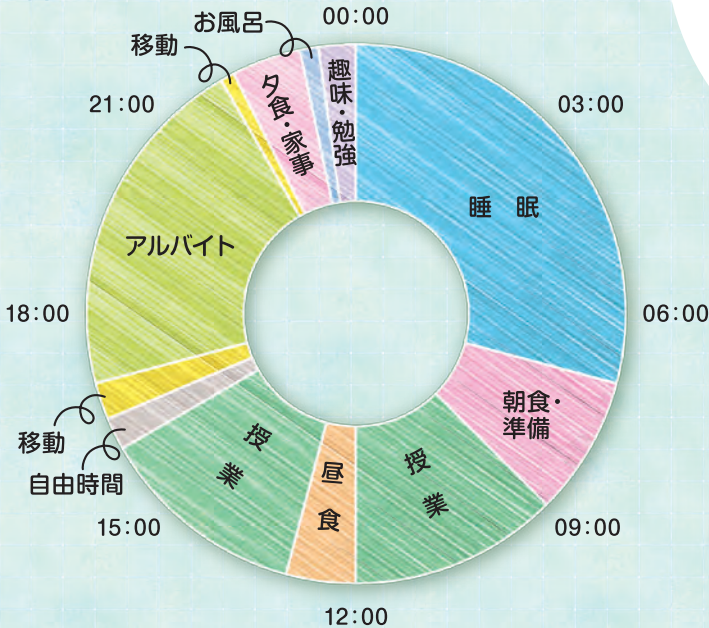
空き時間や、就寝前によく本を読みます。本を読んでいると自然と穏やかな気持ちになれます。たまに、無性に本が読みたくなって、他のことに手が付けられなくなるのが少し悩みです。また、友達と時間を気にせず熱く語り合う時間も非常に楽しくて好きです。

寮生活

天気の良い日の景色は最高です。日本人の学生に限らず、留学生の方とお話したり、一緒にご飯を頂いたりと色々な交流ができる場所です。寮でつながった人、また、そこから広がった人脈のおかげで私の学生生活は大変彩り豊かなものになったと1年間生活してみて実感しています。入学して間もない頃は知り合いも少ないと思うので、人間関係を構築しやすい寮はおすすめです。



1日のタイムスケジュール



1年次前期の履修科目(2023年度)

	月	火	水	木	金
1	鳴教大生 学びの第一歩: 学びの セルフデザイン		鳴教大生 学びの第一歩: 自己・他者・地域・ 世界の課題解決	基礎情報 教育	
2	教職論	基礎情報 教育	英文講読		健康・ スポーツ 科学I
3		英語コミュニ ケーションI		英語基礎 研究	図画工作 I
4	保健体育科 教育論I	日本国 憲法	教育実践 基礎演習		英語 リーディングI
5		生活		運動方法II	

友だち

友だちと一緒に外食をしたり、どこか旅に出かけたり、ホームパーティーをしたりと楽しんでいます。そのひとつひとつが大学生活の大切な思い出となっています。私は県外出身なので、おいしい料理屋さんをはじめとする、徳島の魅力を教えてもらっています。



魅力あふれるキャンパスライフ



小学校教育専修 体育科教育コース

上田 彩芽さん (2023年度入学)

入学してからの生活について

鳴門教育大学は少人数制であるため、仲間とともに同じ目標に向かって学修できる学校だと思います。自分の所属コースの教科以外にも好きな教科の授業を受けることができ、興味のある教科を見つけることができます。また、この学校の一番の魅力は人とのつながりだと思います。部活動やサークル活動が充実しており、学年関係なくいろいろな人と仲良くなることができます。毎日新しい発見をすることができ、日々充実した生活を送っています。

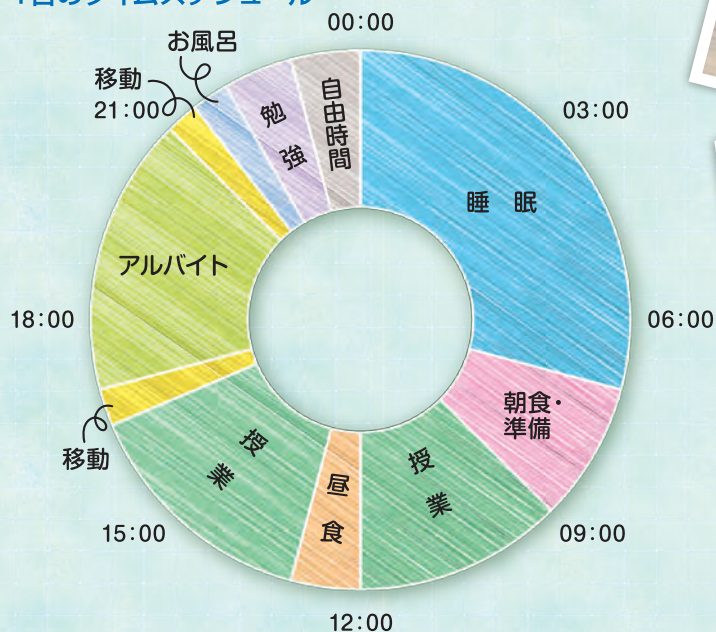
日常生活の写真

アルバイト

鳴門にあるいつも繁盛しているラーメン屋さんです。一緒に働いている方々はみんな親しみやすく、毎日バイトにいくのが楽しいです。まかないもととてもおいしくて幸せです！



1日のタイムスケジュール



1年次後期の履修科目 (2023年度)

	月	火	水	木	金
1	性に関する ダイバーシティ 教育論	初等社会科 教育論	グローバル化・ 多文化化時代の 学校教育		初等音楽Ⅰ
2	初等理科	学習指導と 学校図書館	比較文化研究 Ⅰ		健康・ スポーツ 科学Ⅰ
3	初等国語	英語コミュニ ケーションⅡ		英語学概論	
4		道徳教育 指導論	教育実践 基礎演習	生理学 Ⅰ・Ⅱ	英語 リーディング Ⅱ
5				運動方法Ⅲ	

部活動

私は中学校から続けているハンドボール部に所属しています。部員は少ないですが、おもしろいメンバーが多くていつも部活に行くのが楽しみです。また、軽音楽部にも所属しています。好きなメンバーとバンドを組むことができ、文化祭ではたくさんの人が見に来てくれました。ほかにもたくさんイベントがあり、ライブならではのドキドキを味わえます。



学科

鳴門教育大学は特に学科内でとても仲良くなることができます。個性のあふれたメンバーが多く、授業や空きコマの時間は話がつかまません。休みの日にはみんなで遊びに行くなど、いい思い出がたくさんできます！



グルメ

学校周辺にはおいしいご飯屋さんがたくさんあります。カフェやファミレス、ラーメン屋にはよく行きます。新しいお店をいっぱい発見できて楽しいです。



就職支援

キャリア教育、就職支援の充実のため、全学的、組織的な取り組みを行う

本学では、幼稚園・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校の教員養成に力を入れています。キャリア教育、就職支援の充実のため、就職委員会及び就職支援室が中心となり、全学的、組織的な取り組みを行い学生の実践的教育力の向上に努めています。

就職を希望する学生には、教員採用試験に向けて、学内説明会、教採対策ガイダンス、模擬試験、教採実技ガイダンス（模擬授業・個人面接・集団討論等）などを実施しています。

また、公務員や企業への就職を希望する学生向けには就職ガイダンスや、公務員ガイダンス等を用意しています。



※教採実技ガイダンス「模擬授業」の様子

全国でもトップクラスの教員就職率

本学の教員就職率は、全国44の国立の教員養成大学・学部（教員養成課程）の中で、トップクラスを維持しています。

教員就職率（保育士・進学者を除く）

2020（令和2）年	2021（令和3）年	2022（令和4）年	2023（令和5）年
87.9%	77.4%	72.8%	88.2%

2023（令和5）年3月学校教育学部卒業者の進路状況

（2023（令和5）年9月30日現在）

区 分	卒 業 者 数	教 員						保育士	教員・保育士以外の就職者	大学院進学	その他	就職率	教員就職率 （保育士・進学者を除く）
		幼稚園	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	小 計						
2023年3月卒業	107	4	51(23)	19(5)	6(3)	2	82(31)	2	9	12	2	98.1%	88.2%

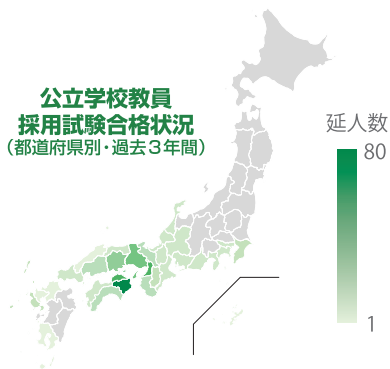
※（ ）内の数は、期限付教員を内数で示す。教員・保育士以外の就職者には臨時採用の者を含む。

※進学者は、自らの意思で進学を選択した者であり、就職したものとみなす。

就職先

本学卒業生の主な就職先（自治体等）は、徳島県、兵庫県、香川県、大阪府などです。大学のある徳島県近隣で就職する学生もいますが、出身地・地元に戻り教員になる学生も多くいます。

公立学校教員
採用試験合格状況
（都道府県別・過去3年間）



大学院への進学

大学院に進学し、研究を深める学生もいます。

本学大学院に進学を希望する場合、学内推薦制度もあります。各専修・コースから推薦された者は、大学院入学試験の際の筆記試験または実技試験の免除、入学料の半額免除のメリットがあります。

2023（令和5）年3月卒業生の内、本学大学院に進学した学生は8人（学内推薦制度利用は7人）であり、約13人に1人が本学大学院に進学し、研究を深めています。

就職支援室

アドバイザーとスタッフを配置し、親切、丁寧に対応



教員をはじめとして、学生の就職活動を支援するため、就職支援室が設置されています。就職支援室には教員就職支援チーフアドバイザーと就職支援アドバイザーを配置し、進路相談や面接・論文指導など、学生からの教員採用試験に関する相談に対して、親切、丁寧に対応しています。また、事務系スタッフも配置し、就職支援行事の提供、各種問い合わせへの対応の他、ボランティア活動の紹介なども行っています。

設備面では、関連の書籍を数多く取り揃え、学生に貸し出しを行っています。

卒業生からのメッセージ

教員になりたいという夢を叶えた先輩の声

夢を実現できる場所



徳島市八万小学校

元木 麻里名 2024 (令和6) 年3月卒業
(徳島県出身)

私は、徳島県の小学校で教員として働いています。34人の児童と共に楽しい日々を過ごしています。毎日が初めての経験で戸惑いや不安でいっぱいですが、元気でまっすぐな児童達と経験豊富で頼りになる先生方に支えられ、充実した日々を送っています。

このような日々を送ることができるのは、鳴門教育大学での4年間の学びがあったからこそだと思います。ここからは、鳴門教育大学の魅力について紹介していきたいと思います。

① 支え合い成長し合える仲間の存在

鳴門教育大学は一学年が100人ほどで、講義には様々なグループ活動が取り入れられているため、すぐ仲良くなることができます。そのため教員採用試験では、同期の子たちと協力し励まし合いながら勉強をすることができました。同じ目標を持ち、共に頑張ることができる仲間ができるため、支え合って一緒に夢を追うことができます。

② 実践につながる講義と実習

学生の人数が少ない分、少人数できめ細やかな指導を受けることができます。中でも、ゼミや各コースの授業では、教授との距離も近くすぐに質問をすることができるため、内容の濃い講義を受けられることが特徴です。さらに1年次から模擬授業をしたり、1か月間の教育実習が行われたりと実際に授業を経験し積み重ねてきたため、現場での実践に大いに生かすことができます。

③ 手厚い就職サポート

鳴門教育大学の一番の魅力が就職支援のサポート体制です。就職支援室では、集団討論から小論文、模擬授業など経験豊富で学校現場を熟知した先生方が手厚く指導してくださります。就職支援の先生方がしてくださる講義やガイダンスをすべて受けておけば、教員採用試験に合格することができますと言っても過言ではないぐらい、お世話になりました。また、それぞれの都道府県別で仲間が集まり対策をし合える場もあり、同じ都道府県の教採を受ける同士で情報交換をすることもできます。

このように鳴門教育大学には教員になる夢を全力で支えてくれる先生方や一緒に頑張ることができる仲間との出会いなど、多くの魅力があります。ぜひ鳴門教育大学で皆さんの夢を叶えましょう。

同志の集う大学



和歌山市立伏虎義務教育学校

大城 悠 2024 (令和6) 年3月卒業
(和歌山県出身)

私は現在、地元和歌山県の義務教育学校後期課程(中学校)で教員をしています。担当クラスの26人の生徒だけではなく、教科指導で他学年を含め多くの生徒たちと学校生活を過ごしています。また、知っているようでほとんど知らない学校現場での毎日を、多くの経験豊富な先輩教員に支えられながら過ごしています。時折自身の無力さにやるせなさを感じつつも、少しずつでも成長していける充実した毎日を過ごすことができているのは、鳴門教育大学での4年間であってこそだと痛感しています。今回、そのような鳴門教育大学の魅力を少しでもお伝えできれば幸いです。

① 同志とも言える友達との存在

鳴門教育大学では、学生の多くが教員を目指しています。そこでできた友達は単に馬が合う、仲が良いというものではなく、互いの教育観について語り合ったり、より良い教育について共に悩み、実践し、振り返り、次に繋げたりという成長し合える仲間であり、ライバルでもあります。自分一人で行えることはそう多くはありませんが、同じ志をもつ仲間と協力という関わりの中では、自分の確かな教育観の確立や、目標とする教師像などが見えてきたり、自分を一層客観視し、広い視野をもつことにもつながります。

② 少人数だからこそ学び

鳴門教育大学は学部生一学年100人とかなりの少人数です。コースなど専門の授業になれば10人以下での授業は日常茶飯事です。だからこそ、自分の意見や考えを授業中に伝えやすかったり、教授との距離が非常に近かったりします。人数が多いことでの学びはもちろんあるとは思いますが、少人数ゆえの個人の主体性が重視された教育環境であるからこそ、より深い学びがあります。

③ 複数免許取得

私は小学校教諭一種免許状、中学校教諭一種免許状(社会・家庭)、高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民・家庭)の合計6つの免許を取得しました。他にも、学校図書館司書教諭などの資格を自身の専門教科の免許状と併せて取得する学生もいます。もちろん取得する免許状が増えれば、受ける授業の数も多くなりますが、自身の教員としての知識を増やし、働く校種の選択の幅を広げることにもつながります。結果として、現在私は社会と家庭の2教科を担当し、しかも義務教育学校という小中一貫校で教えています。そうした、他教科の免許状をわずか4年間で取得できるのも魅力だと思います。

2024年度鳴門教育大学学校教育学部入学者選抜状況

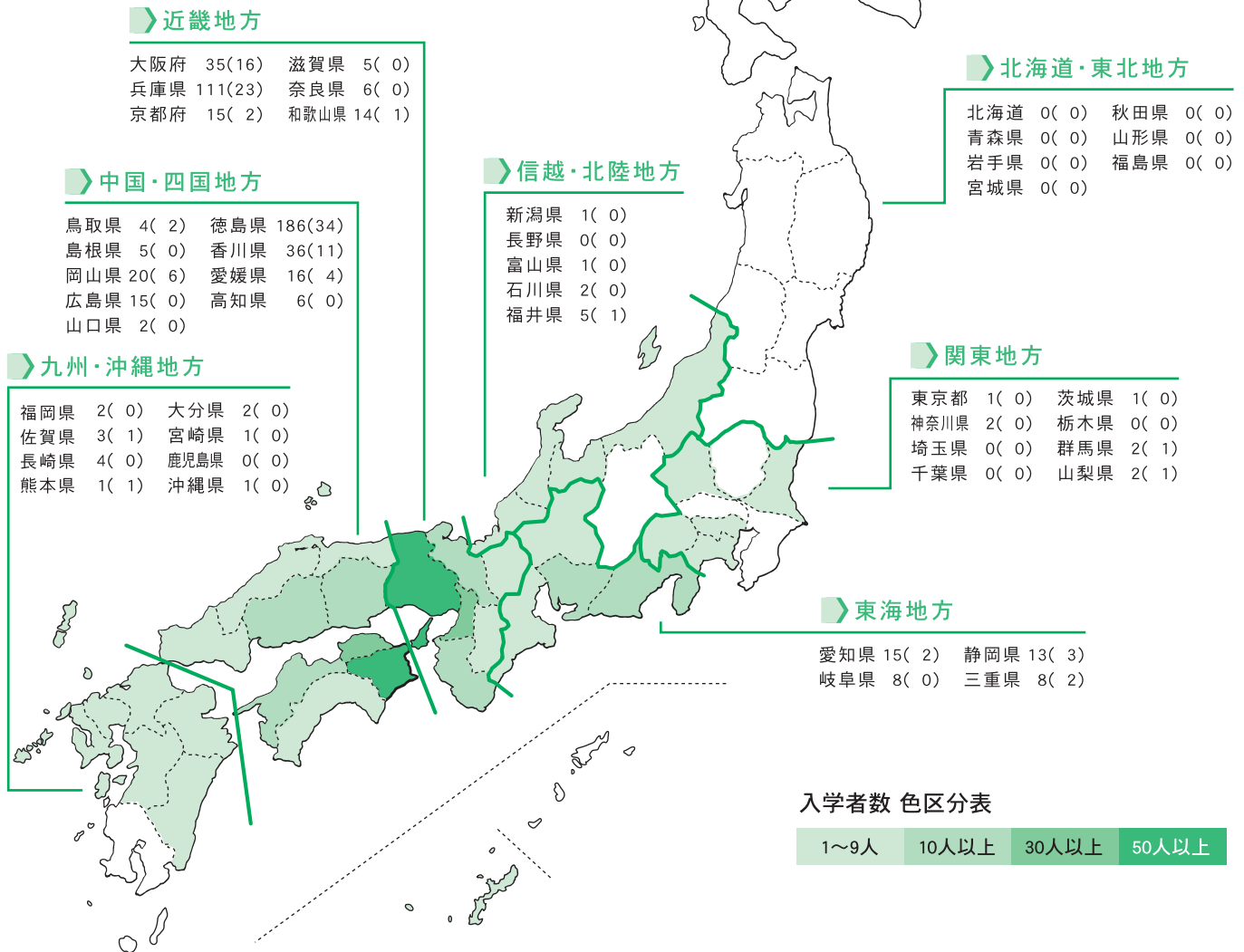
専 修 及 び 専 門 科 目		期 別	募 入 員 数	志 願 者 数	受 験 者 数	合 格 者 数	入 学 者 数	左 記 内 訳						志 倍 率	受 験 率	
								県 内	県 外	男	女	卒 見 者	既 卒 者 等			
幼 児 教 育 専 修		推 薦Ⅱ	2	9	9	2	2	2	0	0	2	2	0	4.5	4.5	
		前 期	3	9	6	3	3	3	0	0	3	3	0	3.0	2.0	
		計	5	18	15	5	5	5	0	0	5	5	0	3.6	3.0	
小 学 校 教 育 専 修 学 校 教 育 実 践 コ ー ス		前 期	5	24	22	6	6	2	4	0	6	6	0	4.0	3.7	
		後 期	2	47	17	3	3	0	3	2	1	3	0	15.7	5.7	
		計	7	71	39	9	9	2	7	2	7	9	0	7.9	4.3	
小 学 校 教 育 専 修	国 語 科 教 育 コ ー ス	前 期	8	20	18	10	10	1	9	7	3	10	0	2.0	1.8	
		後 期	4	52	16	4	4	1	3	1	3	3	1	13.0	4.0	
		計	12	72	34	14	14	2	12	8	6	13	1	5.1	2.4	
	英 語 科 教 育 コ ー ス	前 期	6	12	11	8	6	3	3	1	5	6	0	1.5	1.4	
		後 期	2	30	6	3	2	0	2	1	1	2	0	10.0	2.0	
		計	8	42	17	11	8	3	5	2	6	8	0	3.8	1.5	
	社 会 科 教 育 コ ー ス	推 薦Ⅱ	2	12	12	3	3	1	2	3	0	3	0	4.0	4.0	
		前 期	6	12	8	6	6	1	5	5	1	6	0	2.0	1.3	
		後 期	2	50	10	3	2	0	2	2	0	2	0	16.7	3.3	
		計	10	74	30	12	11	2	9	10	1	11	0	6.2	2.5	
	算 数 科 教 育 コ ー ス	前 期	8	27	26	10	10	1	9	6	4	10	0	2.7	2.6	
		後 期	3	58	11	3	2	0	2	2	0	2	0	19.3	3.7	
		計	11	85	37	13	12	1	11	8	4	12	0	6.5	2.8	
	理 科 教 育 コ ー ス	前 期	7	17	17	8	7	0	7	5	2	7	0	2.1	2.1	
		後 期	3	59	14	4	4	0	4	2	2	2	2	14.8	3.5	
		計	10	76	31	12	11	0	11	7	4	9	2	6.3	2.6	
	中 学 校 教 育 専 修	音 楽 科 教 育 コ ー ス	推 薦Ⅱ	3	5	5	4	4	3	1	1	3	4	0	1.3	1.3
			前 期	3	10	5	3	3	1	2	0	3	3	0	3.3	1.7
計			6	15	10	7	7	4	3	1	6	7	0	2.1	1.4	
図 画 工 作 科 教 育 コ ー ス		推 薦Ⅰ	2	6	6	3	3	2	1	0	3	3	0	2.0	2.0	
		前 期	4	5	5	4	4	1	3	0	4	3	1	1.3	1.3	
		計	6	11	11	7	7	3	4	0	7	6	1	1.6	1.6	
体 育 科 教 育 コ ー ス		推 薦Ⅱ	2	5	5	2	2	1	1	1	1	2	0	2.5	2.5	
		前 期	6	8	5	5	5	3	2	2	3	5	0	1.6	1.0	
		計	8	13	10	7	7	4	3	3	4	7	0	1.9	1.4	
技 術 科 教 育 コ ー ス		推 薦Ⅱ	2	1	1	1	1	1	0	0	1	1	0	1.0	1.0	
		前 期	4	15	12	6	6	1	5	6	0	6	0	2.5	2.0	
		計	6	16	13	7	7	2	5	6	1	7	0	2.3	1.9	
家 庭 科 教 育 コ ー ス		推 薦Ⅱ	2	5	5	3	3	2	1	0	3	3	0	1.7	1.7	
		前 期	4	11	8	4	4	1	3	0	4	4	0	2.8	2.0	
		計	6	16	13	7	7	3	4	0	7	7	0	2.3	1.9	
特																

注2) 志願者数及び受験者数は、第2志望を含まない。

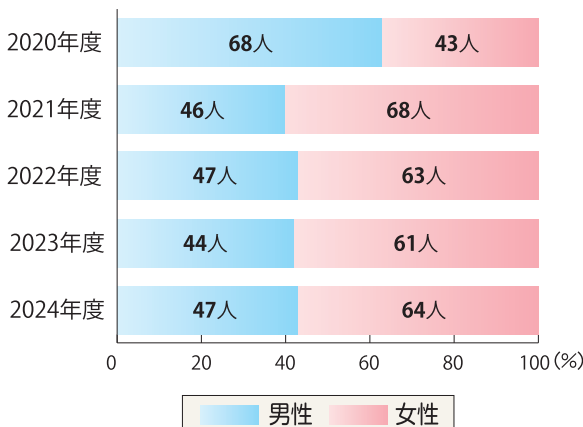
全国からあなたと
同じ夢を追いかける方が、
鳴門教育大学に來ています。

出身都道府県別入学者数

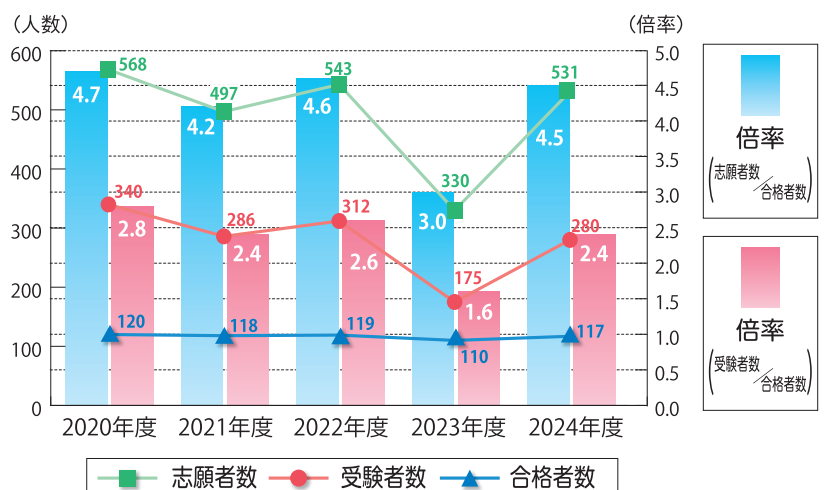
(過去5年間の入学者数、※()内は2024年度入学者数)



鳴門教育大学学校教育学部 入学者男女比(過去5年間)



鳴門教育大学学校教育学部入学者選抜状況(過去5年間)



鳴門ってこんなところ！

1

小鳴門橋周辺



高速鳴門バス停留所の近くにある
大型ショッピングセンター

2

鳴門ウチノ海総合公園



徳島県下最大規模の芝生広場を
有する総合公園

3

大塚国際美術館



日本最大級の常設展示スペースを
有する「陶板名画美術館」

4

鳴門海峡と渦潮



大鳴門橋遊歩道「渦の道」や観潮船
から見る巨大な渦潮



5

ドイツ館



日本で初めて「第九」が演奏された
鳴門市とドイツの記念館

6

四国霊場一番札所 霊山寺



本学のキャッチフレーズである
「教育の一番札所」の由来

7

阿波おどり



毎年徳島県下のトップをきって開催
される鳴門市阿波踊り

8

納涼花火大会



毎年大勢の見物客で賑わう徳島県下
最大規模の花火大会

9

妙見山公園



4月には山全体がピンク色に染まる
桜の名所

鳴門教育大学の位置図



▶ アクセスガイド ———— 神戸から90分／大阪・岡山から120分 鳴門～神戸・大阪の高速バスは30分おきの運行でアクセス良好

＜東京・福岡方面から＞ 徳島阿波おどり空港利用	● 東京（羽田空港）	（1時間20分）	徳島阿波おどり空港	徳島バス「鳴門行き」乗車 （20分）	J R 鳴門駅	バス・タクシー （15分）	大学
	● 福岡（福岡空港）	（1時間5分）	徳島阿波おどり空港	徳島バス「ウチノ海総合公園行き」乗車 （約30分）		「鳴門教育大学前」下車	
＜東京方面から＞ 高速バス利用	● 東京駅、新宿駅等	高速バス （8時間55分）	高速鳴門	（徒歩5分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
	● 京 都 駅	（2時間35分）	高速鳴門	（徒歩5分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
＜京都・大阪・神戸方面から＞ 高速バス利用	● 大 阪 駅 等	（約2時間）	高速鳴門	（徒歩5分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
	● 新 神 戸 駅	（25分）	三宮 B T （35分）	高速舞子 （55分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
車利用	● 垂 水 I C	神戸淡路鳴門自動車道 （約50分）	鳴門北 I C	（10分）			大学
	● 関西国際空港	高速バス （2時間20分）	高速鳴門	（徒歩5分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
＜神戸空港方面から＞ 高速バス利用	● 神 戸 空 港	高速バス （2時間7分）	高速鳴門	（徒歩5分）	高速鳴門 バス停前	バス・タクシー （5分）	大学
	● 岡 山 駅	（2時間13分）	鳴門 I C 北口	タクシー （10分）			大学
＜岡山・広島方面から＞ 高速バス利用	● 広 島 B C	（4時間5分）	鳴門 I C 北口	タクシー （10分）			大学
	● J R 高松駅	J R 高徳線 特急（約1時間）	J R 池谷駅 又は 勝瑞駅	J R 鳴門線 （約20分）	J R 鳴門駅	バス・タクシー （15分）	大学
＜高松方面から＞ J R 利用	● 高松中央 I C	高松自動車道 （約50分）	鳴門 I C	（15分）			大学
	● J R 徳島駅	徳島バス「ウチノ海総合公園行き」乗車 （約50分）				「鳴門教育大学前」下車	大学
＜徳島方面から＞ バス利用 J R 利用	● J R 徳島駅	J R 鳴門線 （約40分）	J R 鳴門駅	バス・タクシー （15分）			大学

修士課程

合計(120人)

人間教育専攻

●心理臨床コース

臨床心理学領域
心理・教育科学領域

●グローバル教育コース

国際教育協力分野
日本語教育・日本文化分野
英語コミュニケーション・異文化理解分野
国際理数科教育分野

社会の中での一人ひとりの個性豊かな
人間的成長を支援する高度な実践的力量
を有する公認心理師・臨床心理士及び
心理臨床学研究者や、開発途上国の教育
力向上に貢献する各国の教員や教育行政
職員並びに国際教育協力の専門家を養成
します。

専門職学位課程(教職大学院)

合計(180人)

高度学校教育実践専攻

教科・総合系

- 国語科教育コース
- 英語科教育コース
- 社会科教育コース
- 数学科教育コース
- 理科教育コース
- 技術・工業・情報科教育コース
- 家庭科教育コース
- 音楽科教育コース
- 美術科教育コース
- 保健体育科教育コース
- 教育探究総合コース

教職系

- 特別支援教育コース
- 幼児教育コース
- 学校づくりマネジメントコース
- 生徒指導コース
- 学習指導力・ICT教育実践力開発コース
- 教員養成特別コース

教科・領域の専門性と、教職実践がともに学べる教職大学院です。教職系科目と教科系科目が連携した実践的で高度な教員養成を行います。

【養成する4タイプの教員像】

1. 学校の教科指導をリードする中核教員
2. 学校教育を俯瞰的に捉え、学校経営、生徒指導、校内研修等をリードする中核教員、学校管理職
3. 教職一般について、幅広い実践力を有する新人教員
4. 教科の高い指導性を有する新人教員

短期交換留学

国際的視野を備えた教員養成に役立っています

海外への留学は、国際理解を深めたり国際的視野を拡大するなど、国際感覚を養うよい機会です。本学では、国際交流を大きな役割のひとつとして位置づけ、卒業後に教職に就いた時、またはこれからの進路において、とても有益なものとして、海外留学や外国人留学生の受入を積極的に推進しています。留学を計画するときは、その目的を明確に持つとともに、更に学力・語学力・経済力に応じた選択が必要です。



短期交換留学の特色

①本学に在籍したまま協定校へ留学

おおむね6か月以上1年以内の期間、鳴門教育大学に在籍したまま協定校へ留学することができます。

②協定校への授業料は免除

在籍したままの留学ですので、授業料は鳴門教育大学に納付するだけで、協定校の授業料は免除されます。

短期交換留学ができる大学 (2024(令和6)年5月1日現在)

協 定 大 学	国・地域名
南 開 大 学	中 華 人 民 共 和 国
青 島 大 学	//
北 京 師 範 大 学	//
台 北 市 立 大 学	台 湾
京 仁 教 育 大 学 校	大 韓 民 国
釜山大学校師範大学・教育大学院	//
光 州 教 育 大 学 校	//
シーナカリンウィロート大学	タ イ 王 国
コ ン ケ ン 大 学	//
カ ン ト ー 大 学	ベトナム社会主義共和国
ブ レ ト リ ア 大 学	南アフリカ共和国
モザンビーク教育大学	モザンビーク共和国
ウェスタンカロライナ大学	ア メ リ カ 合 衆 国

※詳しくは、学生課国際交流室国際交流係にお問合せください。

キャンパスライフQ&A

Q 入学料・授業料は？

A 本学に入学者は、入学料・授業料を納付しなければなりません。入学料・授業料の額とその納付時期は次のとおりです。
なお、入学料は、専用用紙での銀行振込（インターネットバンキング可）にて、授業料は、原則、口座振替にて納付をお願いしています。（口座振替のための申込書を提出していただくこととなります。）

区 分	金 額	納 付 時 期
入 学 料	282,000円	入学手続時
授業料	前期 267,900円	4月30日まで
	後期 267,900円	10月31日まで

※注(1) 2024(令和6)年度入学者の納付金です。
(2) 入学時又は在学中に授業料改定が行われた場合には、改定後の授業料となります。

Q 入学料の免除・徴収猶予制度、授業料の免除制度はありますか？

A 大学等における修学の支援に関する法律に基づき、独立行政法人日本学生支援機構の給付型奨学金の支給対象者となった新入生に対し、入学料及び授業料の全額又は一部が免除される制度があります。（2020(令和2)年度より新制度になりました。）

また、経済的理由及び特別な事情等により納付期限までに納付が困難であると認められる場合には、入学料の徴収が8月末まで猶予される制度があります。ただし、学内の選考基準を満たさなければならず、申請者全員に適用されるものではありません。

Q 奨学金制度はありますか？

A 勉学に励む意欲と能力を持った学生で、経済的理由のため修学困難な学生のために日本学生支援機構奨学金制度（給付型・貸与型）があります。

ただし、奨学金の給付もしくは貸与を受けるためには学内の選考基準及び日本学生支援機構の選考基準を満たさなければなりません。

詳しくは、日本学生支援機構のホームページをご覧ください。

<https://www.jasso.go.jp/shogakukin/about/index.html>

Q アルバイトの紹介はありますか？

A 本学では、LiveCampus（学内ウェブ掲示板）によりアルバイトの紹介を行っています。

紹介するアルバイトは、勉学がおろそかにならないもので、学生としてふさわしいと思われるものに限っています。



大学会館

Q 学生教育研究災害傷害・賠償責任保険とは？

A この保険は、授業、大学行事、課外活動中、通学中、学校施設等相互間の移動中の事故、また、インターンシップ、介護等体験活動を行う際に、他人にケガをさせたり、他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償する保険制度です。

本学では、入学時に全員に加入（保険料4年間で4,660円：2024年度実績）していただいています。

Q 不安や悩みを相談できますか？

A 修学、身体等あらゆる問題、悩み事について気軽に相談できる窓口として、学生なんでも相談室、心身健康センターなどがあります。

学生なんでも相談室では、大学生活におけるあらゆる問題、疑問、悩み事、どこに質問に行けばよいか分からない時なども利用できます。また、障がいのある学生の相談も受け付けています。心身健康センターでは、医師、看護師、臨床心理士が相談に応じます。

Q 学生が利用できる施設はありますか？

A 人間関係を親密にし、学生生活を豊かにすることを目的として学生会館が設置されています。

館内には、食堂（昼食を提供）、フリースペース（渦たまり、多目的ルーム）、売店（軽食、文具、日用品等）、書店、キャッシュコーナーなどがあり、学生生活のオアシスとなっています。

また、課外活動施設として、集会室、和室を設け、サークル活動などに広く利用されています。

Q 学生宿舎はありますか？

A 学生の勉学のための生活空間を提供するため、大学キャンパス内に学生宿舎が次のとおり設置されています。

区 分	棟数	室 数	居住面積	寄宿料（月額）
単身用(男子)	2	160室	約10㎡	4,300円
単身用(女子)	3	240室	約10㎡	4,300円

学生宿舎は、男子棟、女子棟があり、部屋はそれぞれ個室となっています。



学生宿舎

学生募集要項等の請求方法

本学に出願する際には、学生募集要項を確認いただく必要がありますが、インターネット出願に完全移行しておりますので、学生募集要項を取り寄せなくても出願できます。

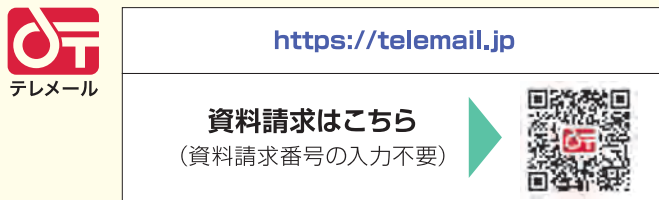
なお、学生募集要項は、鳴門教育大学ウェブサイト [https://www.naruto-u.ac.jp/] で確認できます。

1. 大学のウェブサイトから請求する場合

大学のウェブサイトから、「テレメール」及び「モバっちょ」による資料請求ができます。
詳しくは、鳴門教育大学ウェブサイト (https://www.naruto-u.ac.jp/) をご覧ください。

2. 「テレメール」で請求する場合

(1) テレメールのサイトにアクセスしてください。



(2) 請求を希望する資料請求番号(6桁)を入力してください。

資 料 名	資 料 請 求 番 号	発 送 開 始 日	料 金 (送料を含む)
入学者選抜要項	5 8 6 6 7 0	7月下旬(予定)	180円
学生募集要項 (学校推薦型選抜Ⅰ型)	5 8 6 6 8 0	9月上旬(予定)	180円
学生募集要項 (一般選抜・学校推薦型選抜Ⅱ型)	5 8 6 6 5 0	11月上旬(予定)	215円

(3) ガイドンスに従ってお届け先を登録してください。テレメールのパスワードをお持ちの方は登録不要です。

- * 資料は通常、発送日からおおむね3～5日でお届けできます。ただし、土曜・日曜・祝日の配達はありません。また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。なお、16時までの受付は当日発送、16時以降の受付は翌日発送となります。1週間以上経っても届かない場合はテレメールカスタマーセンターまでお問い合わせください。なお、発送開始日以前の請求分は発送開始日に一斉に発送されます。
- * 料金のお支払いは資料到着後の後払いです。お届けする資料に同封の料金支払い用紙をご確認の上、資料到着後2週間以内に表示料金をお支払いください。なお、支払い手数料が別途必要になります。(コンビニ払いとスマホアプリの請求書支払い(LINE Pay請求書支払い、au PAY請求書支払い)は118円。携帯キャリア払いとクレジットカード払いとPayPay払いは30円。) 携帯キャリア払い、クレジットカード払い、コンビニ払い、PayPay払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金をまとめて支払うこともできます。
- * 資料請求終了時および受付確認メール内で告知される10桁の「受付番号」は、資料到着まで保管しておいてください。

3. 「モバっちょ」で請求する場合【インターネット】

「入学者選抜要項」、「学生募集要項(学校推薦型選抜Ⅰ型)」、「学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜Ⅱ型)」、「学部案内・学生募集要項(一般選抜・学校推薦型選抜Ⅱ型)」を請求できます。

携帯電話、スマートフォン、パソコンからモバっちょにアクセスしてください。

https://djcm-mb.jp/naruto-u2/



携帯用請求QRコード
※対応する携帯電話で
読み取れます。



- * お支払いは、①スマホ・携帯払い、クレジットカード払い(支払手数料は別途50円)、または②コンビニ後払い(支払手数料は別途126円)からお選びください。
- * 携帯電話・スマホの機種、携帯電話会社との契約状況によって、通話料金と一緒に支払えない場合がございます。その場合、コンビニ後払いを選択してください。

◆ 1、2の請求方法についての問い合わせ先 【テレメールカスタマーセンター IP電話／050-8601-0102(9:30～18:00)】

◆ 1、3の請求方法についての問い合わせ先 【モバっちょカスタマーセンター IP電話／050-3540-5005(平日10:00～18:00)】

4. 窓口で受領する場合(各入学者選抜共通)

月曜日から金曜日[祝日、全学一斉休業日(8月13日、8月14日、8月15日)及び12月30日から1月3日は除きます。]の8時30分から17時15分までの間に教務部入試課において受領してください。(無料)

5. 郵便で本学へ直接請求する場合(各入学者選抜共通)

封筒の表に「学部学生募集要項請求(学校推薦型選抜Ⅰ型)」又は「学部学生募集要項請求(一般選抜・学校推薦型選抜Ⅱ型)」と朱書き、角形2号(33.2センチ×24.0センチ)の返信用封筒に、請求者の郵便番号、住所、氏名を明記して、510円分の切手を貼り付けたものを同封し、請求してください。(学校推薦型選抜Ⅰ型の募集要項について、9月30日までの発送を希望する場合は、390円分の切手で差し支えありません。)

▶▶▶ 請 求 先 〒772-8502 徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
鳴門教育大学教務部入試課 TEL: (088) 687-6133

鳴門教育大学の全ての入学者選抜試験において、 インターネット出願を実施します！ (出願方法は、インターネット出願のみです。)

四国の国立5大学(徳島大学、鳴門教育大学、香川大学、愛媛大学、高知大学)が
共同で開設するインターネット出願サイトを使用し、出願を受け付けます。

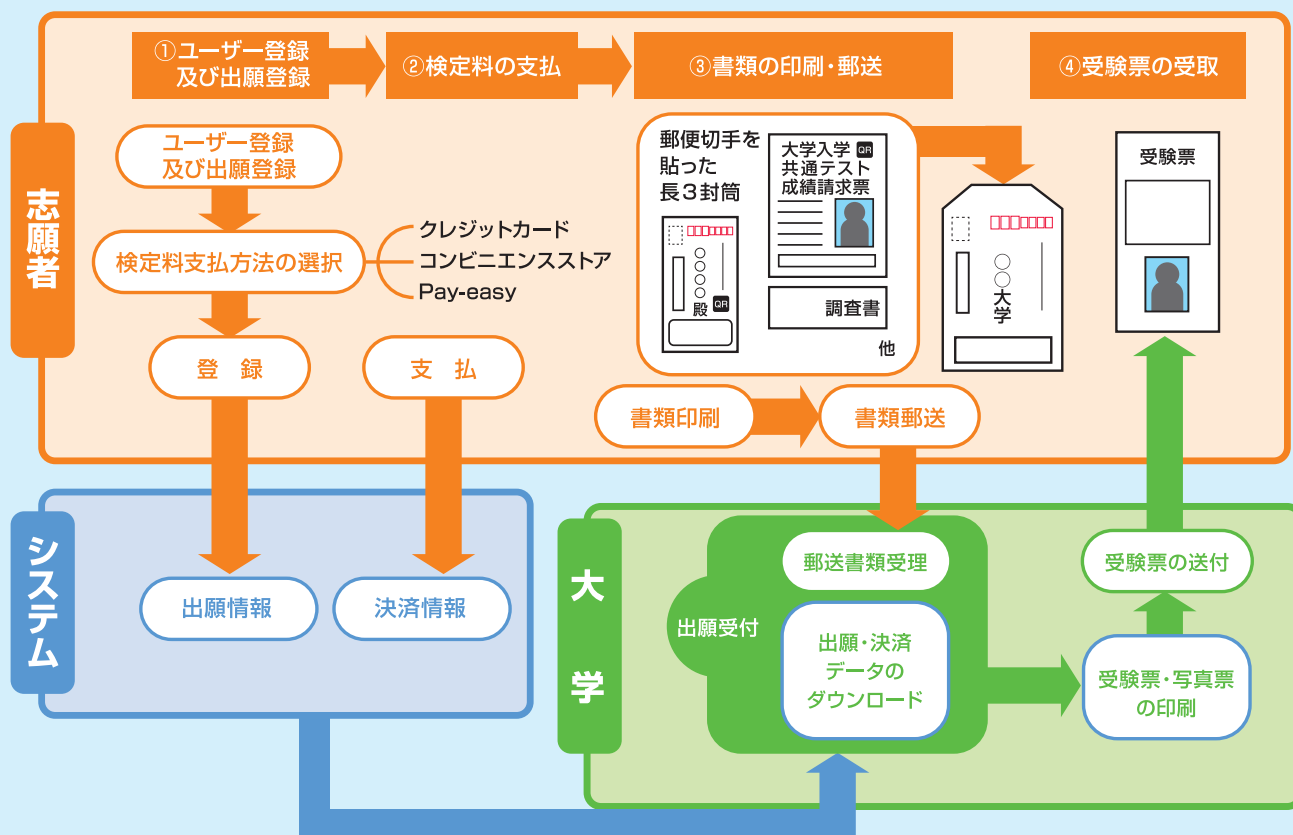
※インターネット出願の詳細は、学生募集要項及び鳴門教育大学ウェブページ[<https://www.naruto-u.ac.jp/>]を参照してください。

メリットがいっぱいのインターネット出願！

- 募集要項の取り寄せは不要です。
- 記入漏れ防止のチェック機能付きで安心です。
- 出願データは24時間いつでも送信できます。
- 出願サイト上で、出願受付状況を確認できます。
- 本人写真のプリントは不要です。
- 検定料はクレジットカード・コンビニ・ペイジーで支払可能です。
- 検定料は24時間いつでも支払できます。



インターネット出願の流れ



注意

インターネット出願において、出願登録及び検定料の支払いを行っただけでは、出願手続完了にはなりません。出願期間中に必着するよう「書留速達」により出願書類を郵送する必要があります。「郵送が必要な出願書類の提出期間」を過ぎたものは受理しないので、郵送期間を十分考慮して、手続を行い、出願書類を送付してください。

「なりたい」から「なる」へ

子どもたちの**未来**のために



国立大学法人

鳴門教育大学

〒772-8502

鳴門市鳴門町高島字中島748番地

<https://www.naruto-u.ac.jp/>



鳴門教育大学

スマホ・携帯電話サイト

各種情報をスマートフォン・携帯電話で閲覧できます。

<https://daigakujc.jp/naruto-u/>



「教育の一番札所」

標語は、「教員養成は鳴門から、そして全国へ」という意味を込め、
本学としての使命と責任を明らかにするため、「教育の一番札所」とした。

問い合わせ先

●入学試験について	TEL (088) 687-6133
●授業・カリキュラム等について	TEL (088) 687-6692
●免許・資格について	TEL (088) 687-6095
●教育実習について	TEL (088) 687-6598
●学生生活・課外活動・奨学金・ 授業料免除等について	TEL (088) 687-6117
●学生宿舎について	TEL (088) 687-6120
●教員採用・就職支援等について	TEL (088) 687-6112
●授業料等の納付について	TEL (088) 687-6060

写真協力…大塚国際美術館、鳴門市観光協会